

平成30年度

全国学力・学習状況調査結果報告書



伊丹市教育委員会

平成30年（2018年）9月

はじめに

現在の社会では、知識・情報・技術等の変化が加速度を増しています。2030年頃には、人口減少、超高齢化、グローバル化、AIやIoT（Internet of Things）等の技術革新がさらに進むことが予測されます。

このような中、国は、第3期教育振興基本計画において、「自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造できる人材の育成」、「一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現」をめざしています。

新学習指導要領には、これらのことを実現するために「育成すべき資質・能力」が明記されています。その「資質・能力」が培われたかどうかを客観的に把握するのが全国学力・学習状況調査です。

複数の資料を関係づけて読み取り、目的や字数など指定された条件に合わせて文章を書く、話し合いの場面を取り上げて互いの意見や発言の意図を理解するなど、単なる記憶としての知識だけではなく、これまで学んだ「知識・技能」を活用し、「思考・判断・表現」することができるかどうかを測る問題となっています。

私たちは、一人一人の子どもが「秘めている可能性」を最大限に発揮できる教育を推進していかなければなりません。そのようなことから、教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果をその都度分析し、重点的に取り組む事項を明らかにしてまいりました。

今年度は、以下に示す①授業改善、②学習に対する興味・関心、③基本的な生活習慣、④学習習慣、⑤規範意識、自尊感情、⑥地域や社会に関わる活動の観点から取り組みを進めてまいります。

これらは、どれも「あたり前」のことです。あたり前のことを徹底してやることこそが、「課題に主体的に立ち向かい、自ら考え判断し表現できる力」を育成するものと考えています。

今後も、これからの社会の中で強くたくましく生きる「伊丹の子ども」を、学校、家庭、地域が一丸となって育ててまいります。

平成30年（2018年）9月

伊丹市教育長 木下 誠

目次

はじめに	・・・・・・・・・・	1
目次	・・・・・・・・・・	2
1 調査の概要	・・・・・・・・・・	3
2 「教科に関する調査」調査結果	・・・・・・・・・・	4
教科別調査結果の詳細		
小学校国語A・B、算数A・B、理科	・・・・・・・・・・	6
中学校国語A・B、数学A・B、理科	・・・・・・・・・・	16
3 取組の概念図と具体的取組	・・・・・・・・・・	29
(1) 授業改善①（主体的・対話的で深い学びの視点）	・・・・・・・・・・	31
授業改善②（考えて書く活動の充実）	・・・・・・・・・・	32
授業改善③（発表する活動の充実）	・・・・・・・・・・	33
(2) 学習に対する興味・関心（授業の理解度）	・・・・・・・・・・	34
(3) 基本的生活習慣	・・・・・・・・・・	35
(4) 学習習慣	・・・・・・・・・・	36
(5) 規範意識・自尊感情	・・・・・・・・・・	37
(6) 地域や社会に関わる活動	・・・・・・・・・・	38

1

調査の概要

(1) 調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ これらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

- ① 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ② 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査

A (主として「知識」に関する問題)	B (主として「活用」に関する問題)
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力

- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査実施日等

平成30年(2018年)4月17日(火)

(5) 調査を受けた児童・生徒数

単位：(人)

	小学校6年生	中学校3年生
全国(公立)	1,030,031	967,196
兵庫県(公立)	46,897	42,999
伊丹市	1,761	1,633

(6) 調査の解釈にあたって留意いただきたいこと

本調査では、児童生徒の学力全体を明らかにすることはできません。調査した教科は3教科のみであり、設問の内容も学習内容を全て網羅しているとは限りません。したがって、調査の結果から分かるのは、児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部や、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

(7) 調査結果報告書の活用

- ① 学校では、結果報告書に基づいて分析を行い、課題の把握、改善のための取組を進めます。
- ② 家庭では、生きる力を育むための、生活・学習習慣の確立をめざしましょう。

2

「教科に関する調査」調査結果

(1) 平均正答率

小学校

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	合計
伊丹市	71	54	65	53	59	302
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	300.7

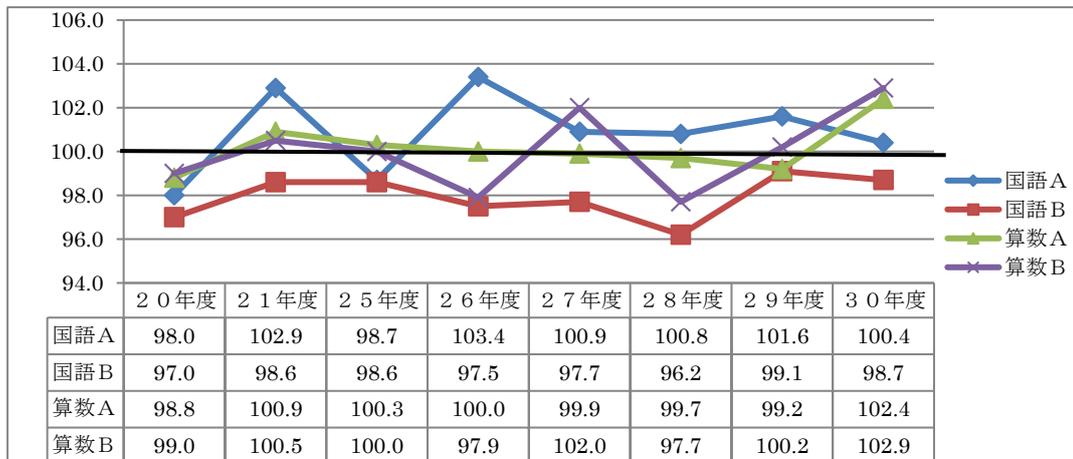
中学校

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	合計
伊丹市	77	61	67	48	67	320
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	316.4

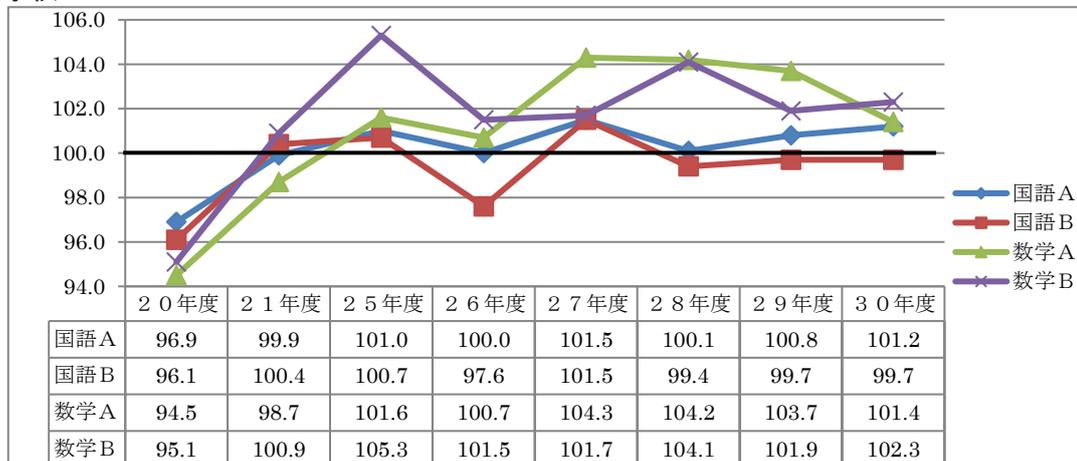
(2) 教科別平均正答率の推移

全国を100とした場合の伊丹の数値（理科は3年に1度のため掲載しない）

小学校



中学校



(3) 無解答率

小学校

	国語			算数						
	A	B 1-三	B 2-一	B 3-二	A	B 1-(2)	B 2-(2)	B 3-(1)	B 4-(2)	B 5-(1)
伊丹市		7.3	2.3	10.8		15.3	1.4	16.1	10.4	15.5
全国	記述なし	6.2	2.7	11.9	記述なし	14.4	1.6	18.0	11.3	16.6
全国差		1.1	-0.4	-1.1		0.9	-0.2	-1.9	-0.9	-1.1

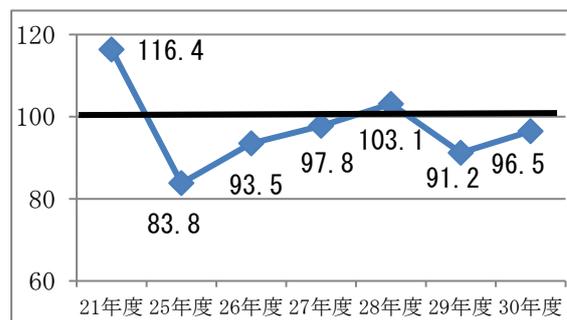
中学校

	国語			数学						
	A	B 1-三	B 2-二	B 3-三	A	B 1-(3)	B 2-(2)	B 3-(3)	B 4-(3)	B 5-(2)
伊丹市		6.7	5.6	11.7		22.4	23.0	29.8	21.6	3.6
全国	記述なし	7.0	5.9	12.4	記述なし	24.9	25.0	33.4	24.6	6.6
全国差		-0.3	-0.3	-0.7		-2.5	-2.0	-3.6	-3.0	-3.0

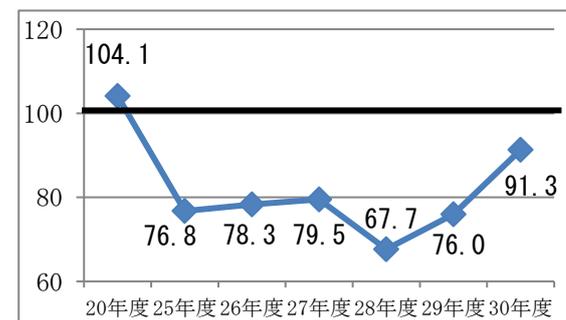
(4) 無解答率の推移 全国の無解答率を100とした場合の無解答率の推移

(国語と算数・数学の合計平均、100を下回るほうがよい)

小学校



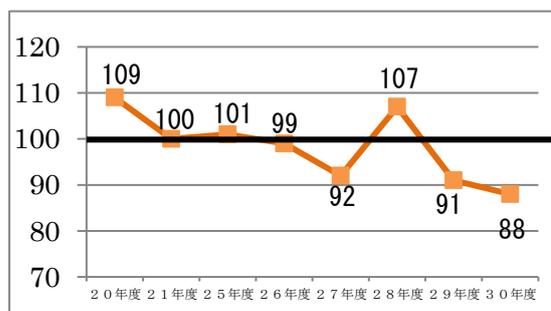
中学校



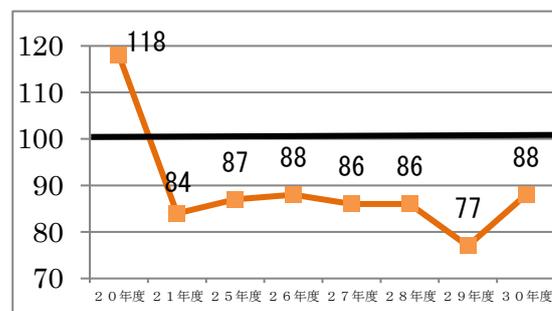
(5) 正答数20%以下の割合の推移

小学校国語A・B、算数A・B、中学校国語A・B、数学A・Bそれぞれの問題の正答数が20%以下の数値を合計し、その児童生徒の比率を全国を100として算出した数値(100を下回る方がよい)

小学校



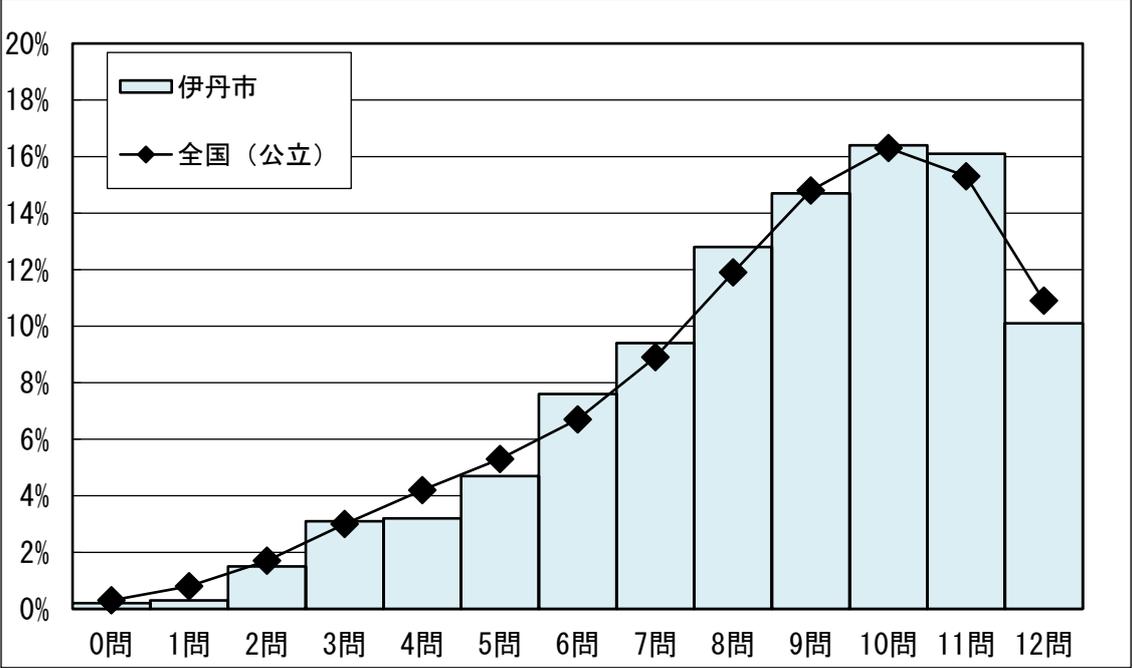
中学校



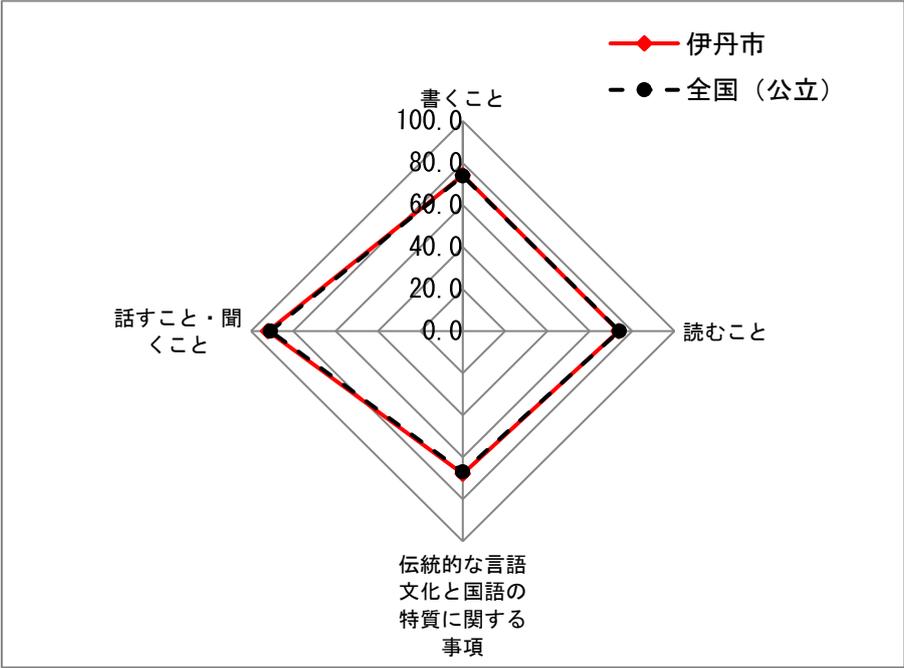
(6) 教科別調査結果の詳細

小学校国語 A (知識に関する問題)

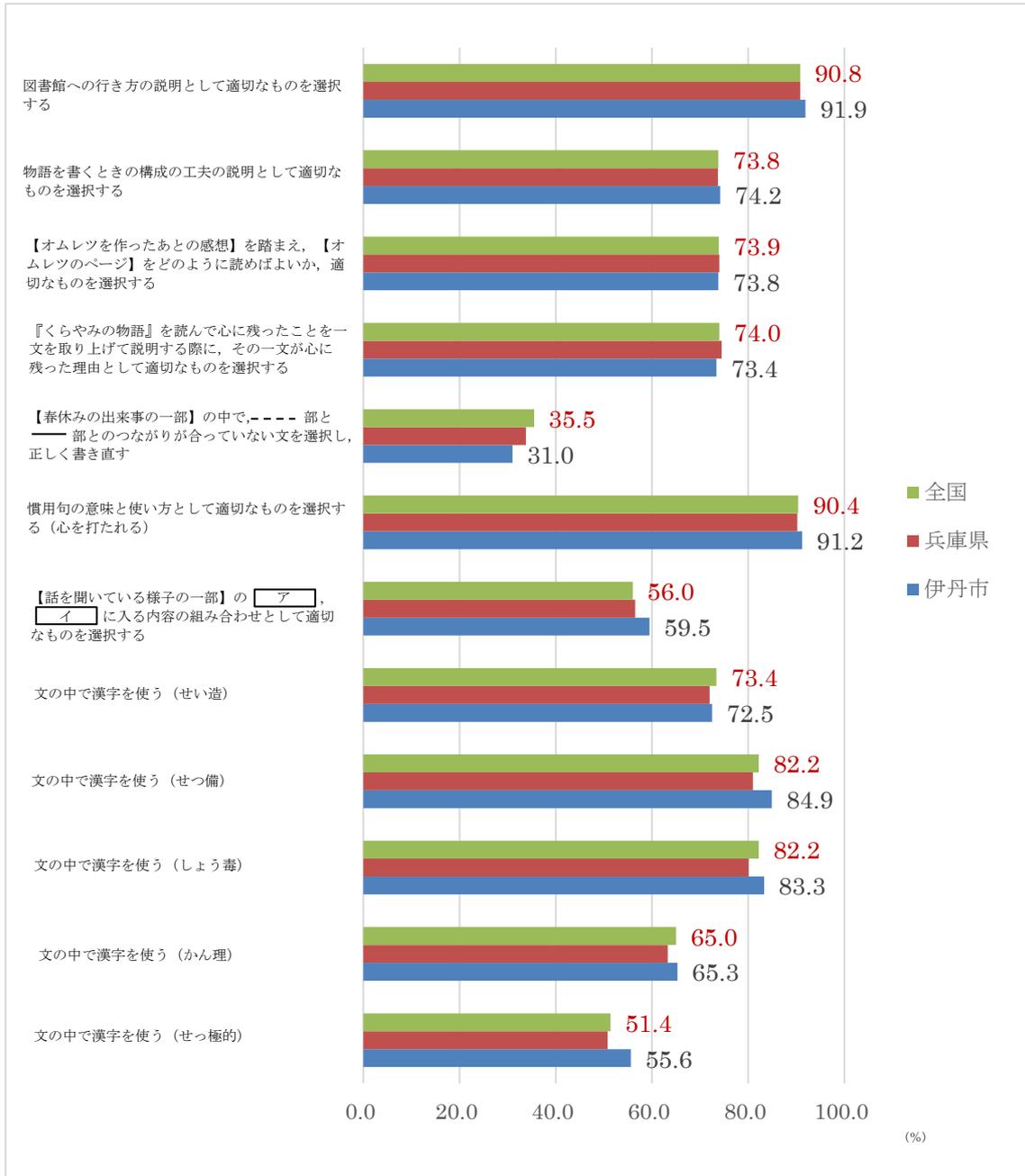
1 正答数分布グラフ



2 分野別レーダーチャート



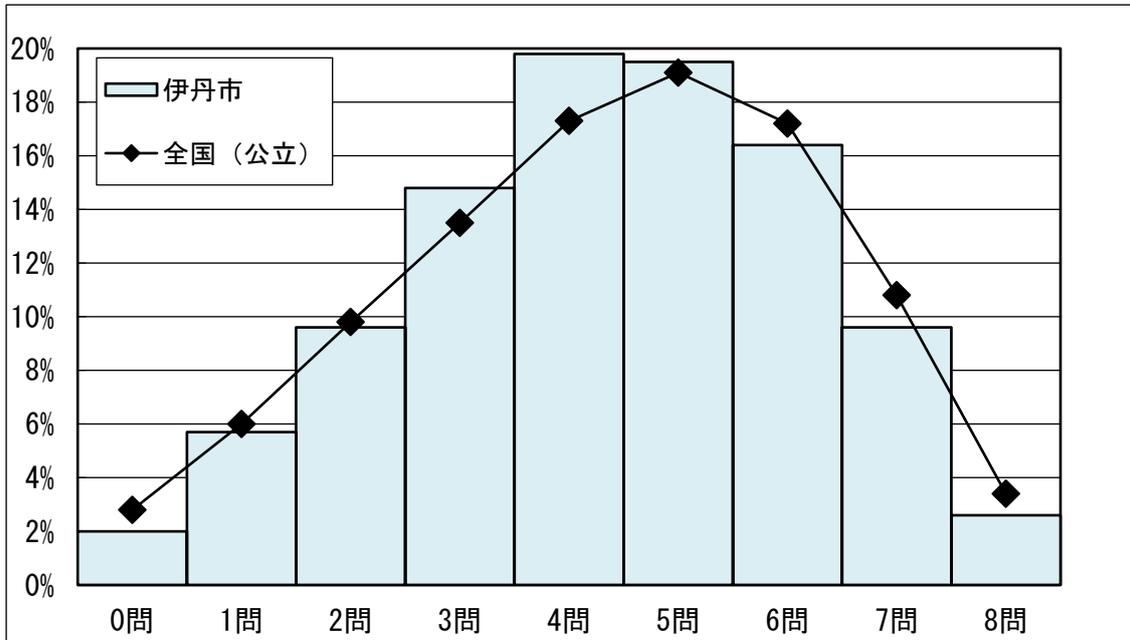
3 設問別状況



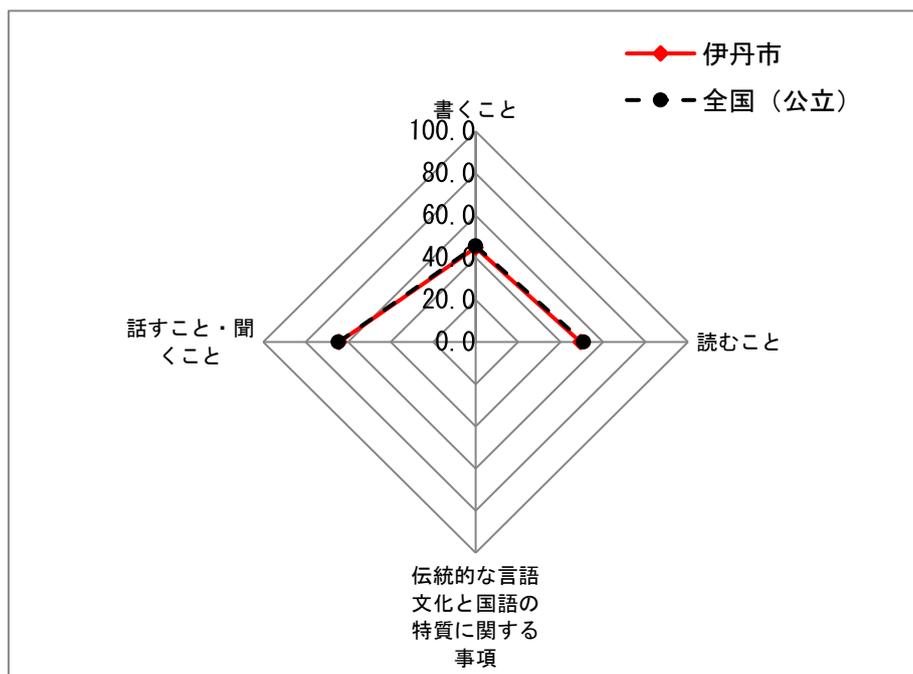
- 相手や目的に応じて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことはできている。
- 慣用句の意味を理解し、使うことはできている。
- 主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題がある。
- 漢字配当表に示されている漢字の中で、同じ発音で字形が似ている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

小学校国語B (活用に関する問題)

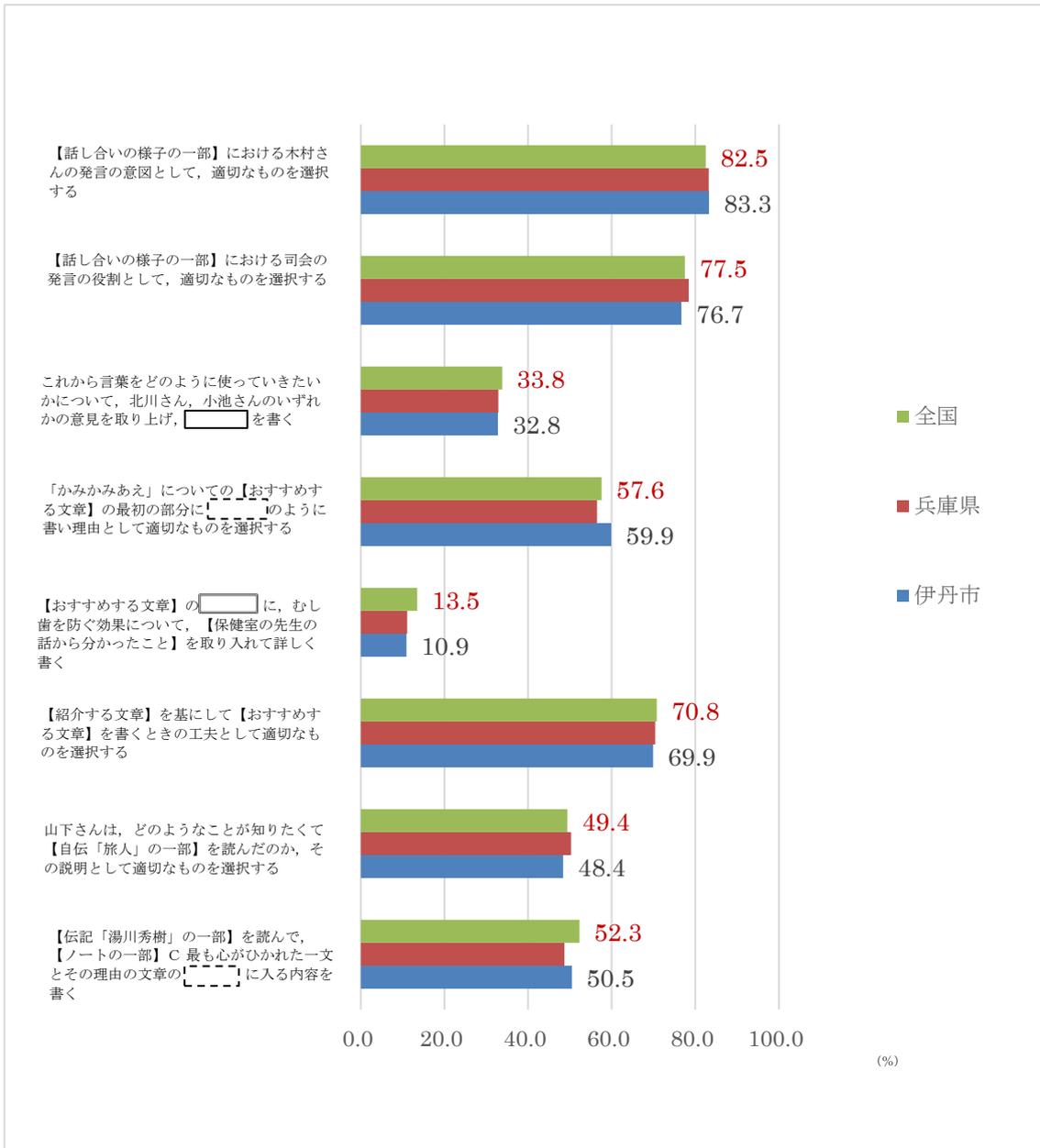
1 正答数分布グラフ



2 分野別レーダーチャート



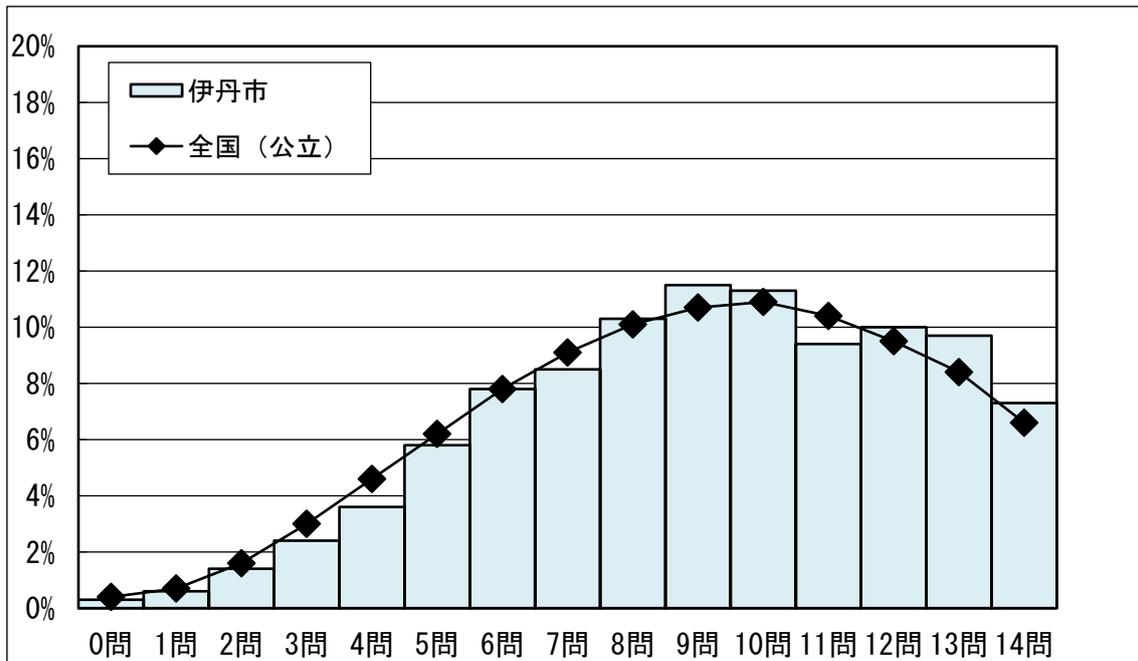
3 設問別状況



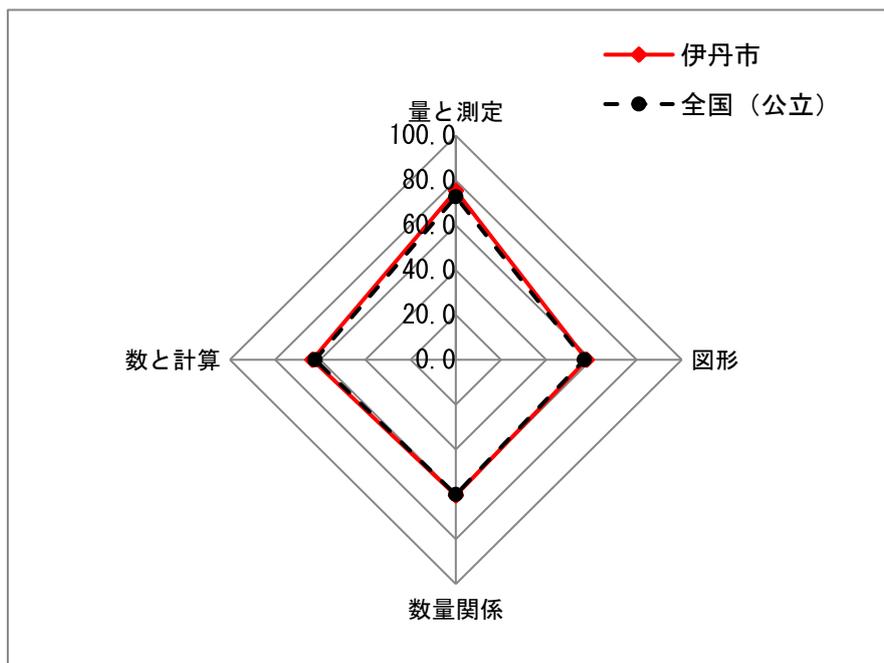
- 話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることはできている。
- 計画的に話し合うために、司会の役割について考えることはできている。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題がある。
- 目的や意図に応じ、内容の中心を詳しく書くことに課題がある。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。

小学校算数A (知識に関する問題)

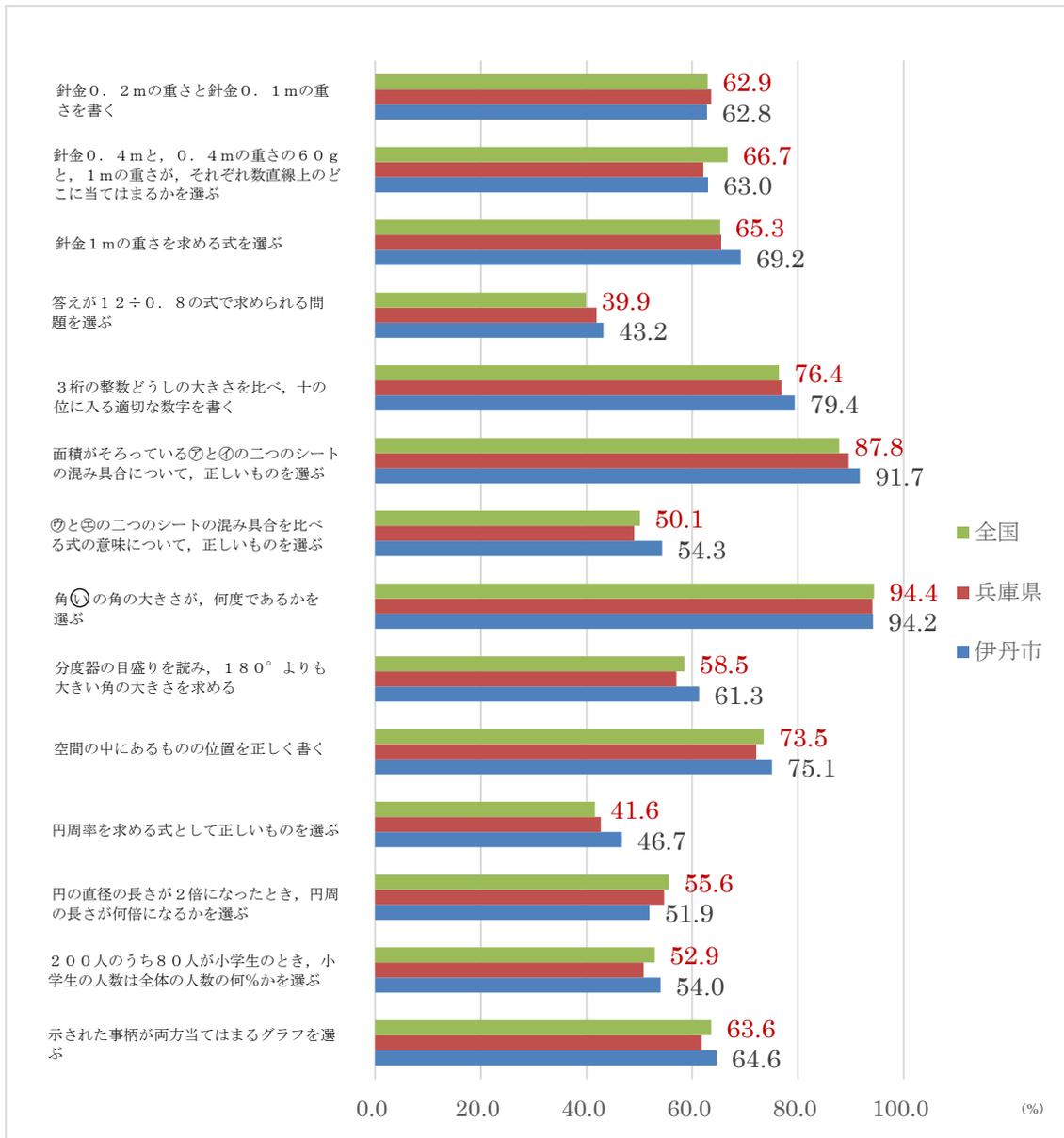
1 正答数分布グラフ



2 分野別レーダーチャート



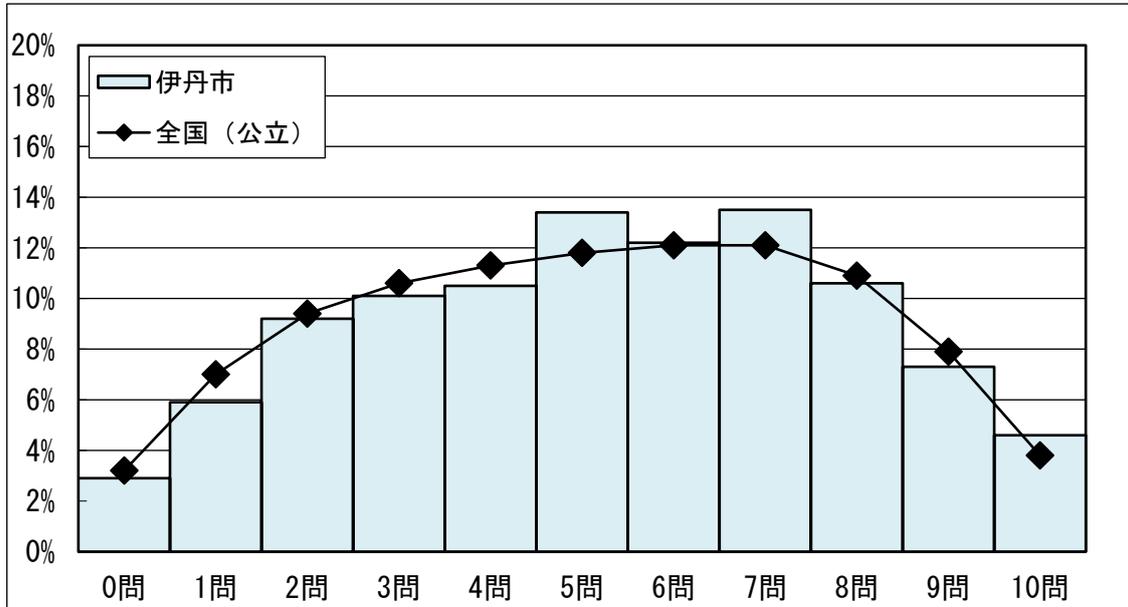
3 設問別状況



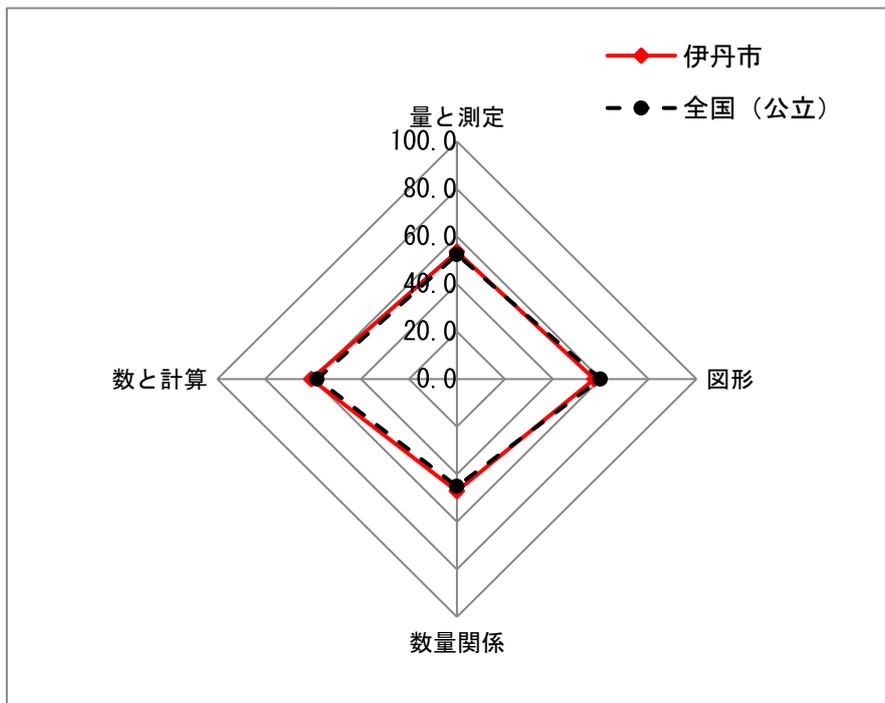
- 割合を調べる場合に、単位量を適切に設定することはできている。
- 図形の基礎となる「角」の概念は、知識として定着している。
- 十進位取り記数法で表された数の大小について理解している。
- 小数の除法の意味について理解することに課題がある。
- 円周率の意味について理解することに課題がある。
- 直径の長さや円周の長さの関係について理解することに課題がある。

小学校算数B (活用に関する問題)

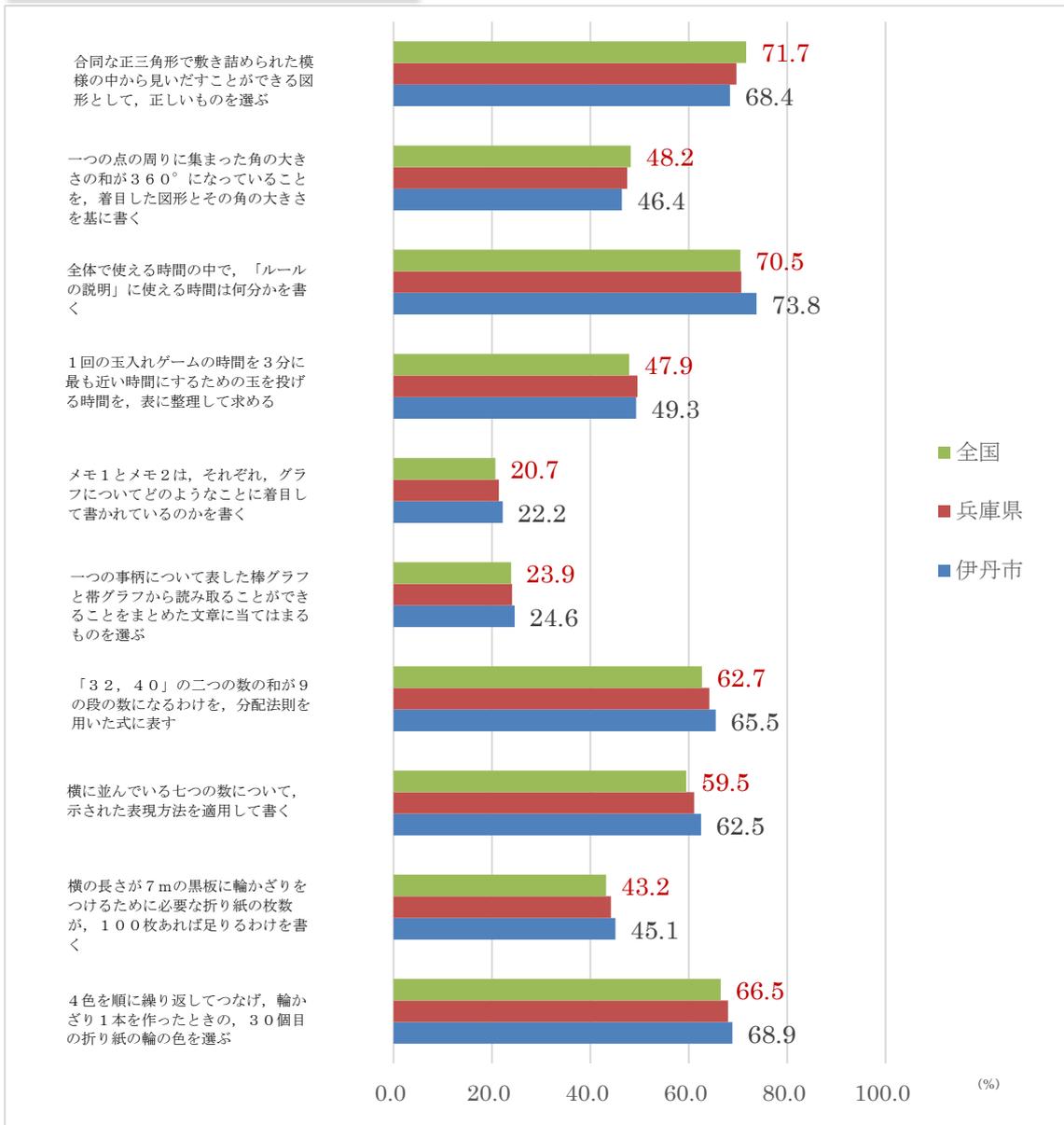
1 正答数分布グラフ



2 分野別レーダーチャート



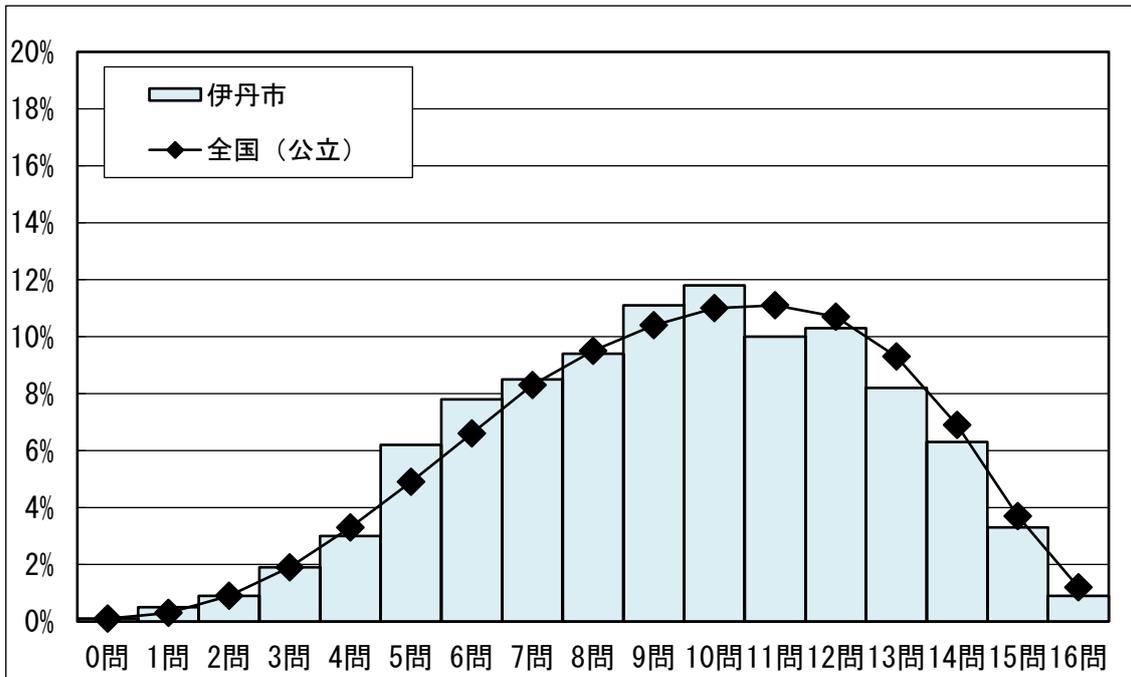
3 設問別状況



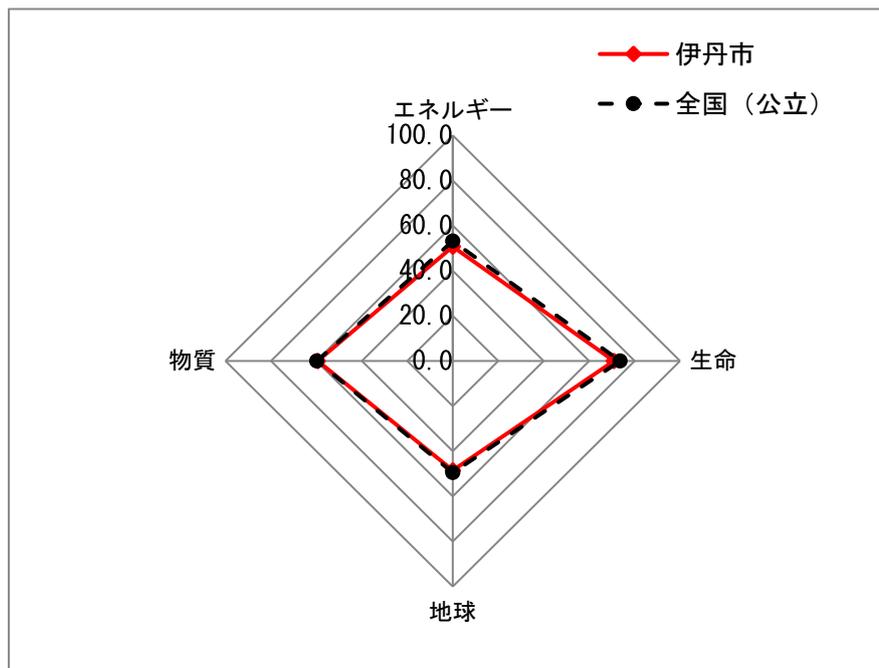
- 示された情報を解釈し、条件に合う値を求めることはできている。
- 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することはできている。
- 問題の規則性を解釈し、それを基に条件に合う解を判断することはできている。
- 設定された図形の構成要素や性質を基に、角の性質について記述することに課題がある。
- 設定された情報とグラフを関連付け、値や変化に着目して記述することに課題がある。
- 各種グラフから読み取れる情報を適切に判断することに課題がある。

小学校理科 (知識・活用に関する問題)

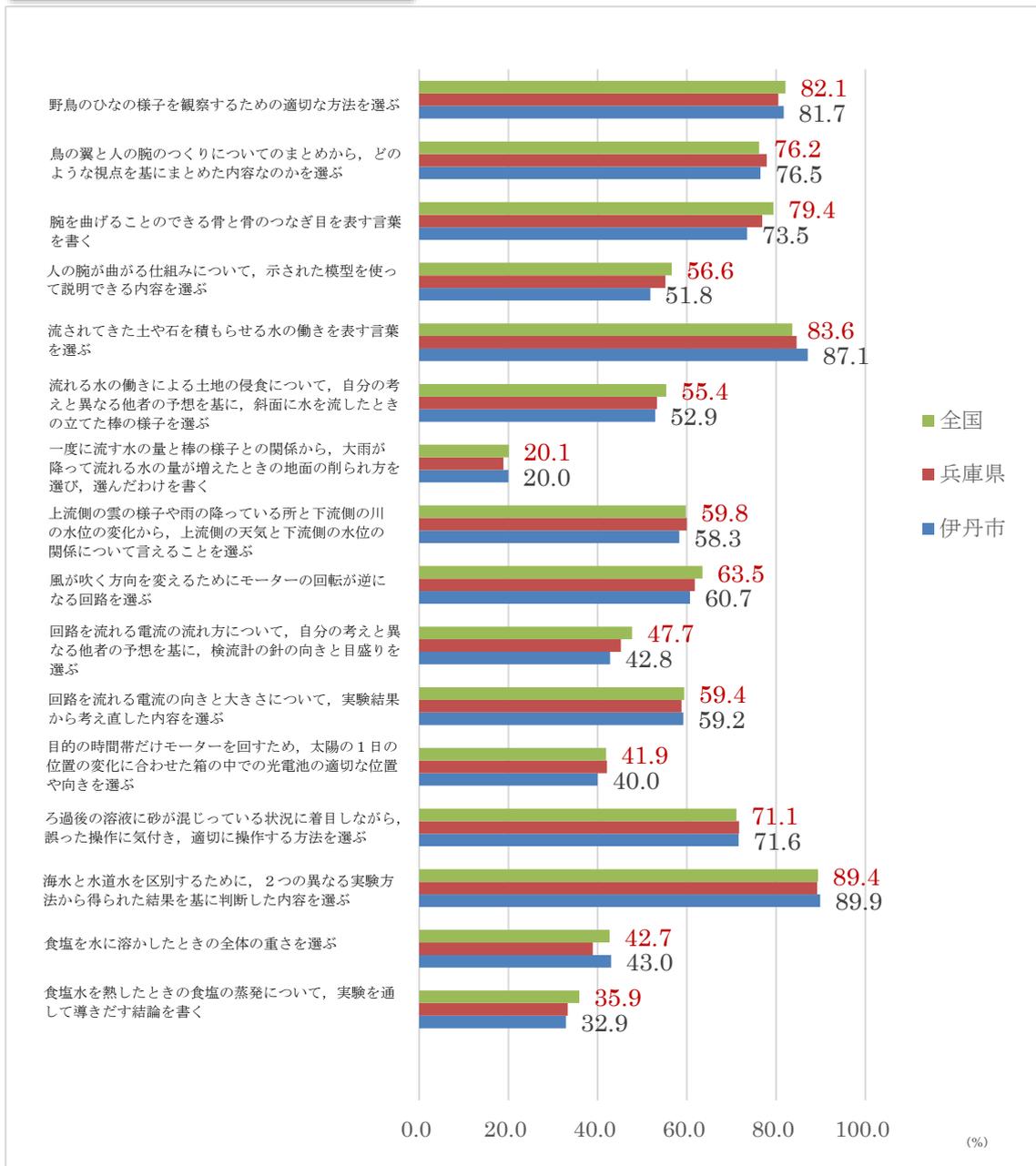
1 正答数分布グラフ



2 分野別レーダーチャート



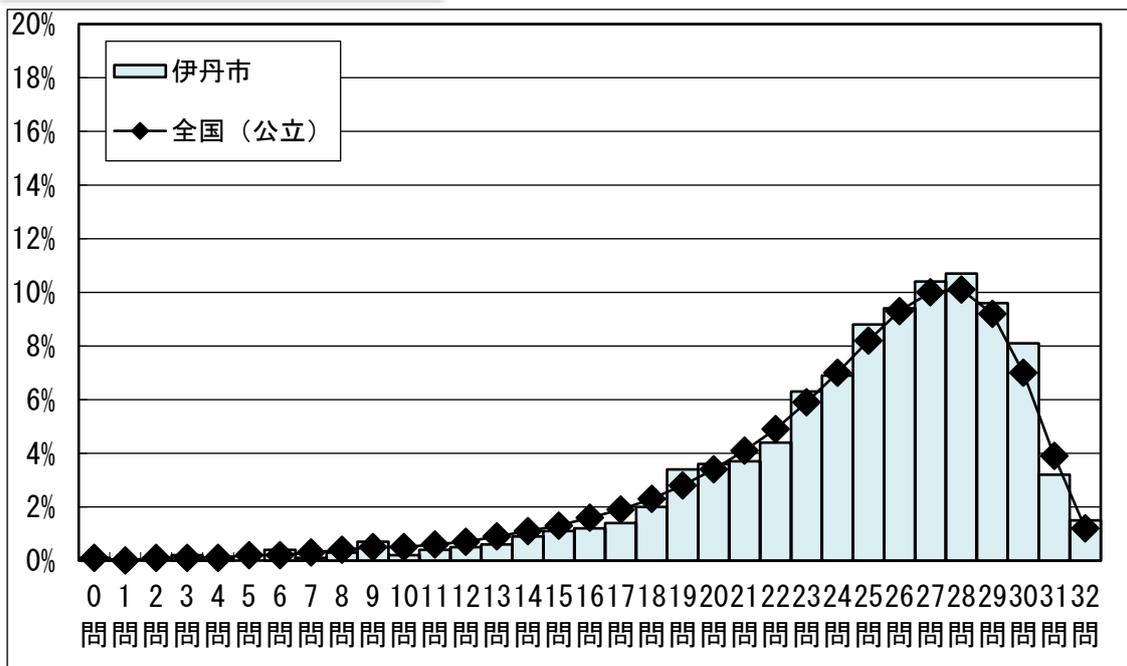
3 設問別状況



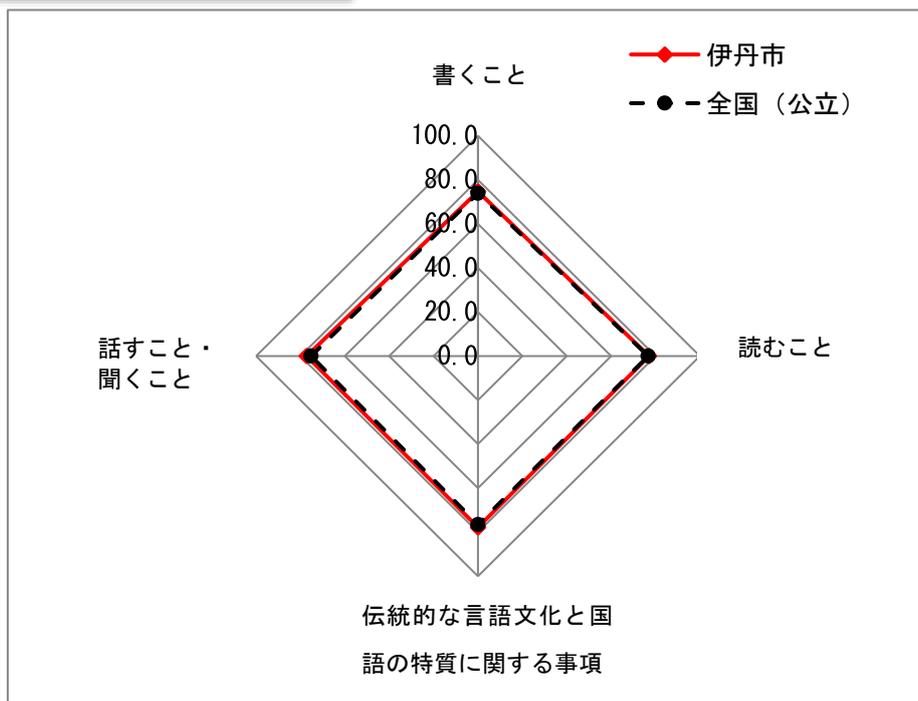
- 2つの異なる実験方法から得られた結果を分析して考察することはできている。
- 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、観察方法を構想することはできている。
- 流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す科学的な言葉を理解している。
- 実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題がある。
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験を基に考えを改善したりすることに課題がある。
- 人の腕が曲がる仕組みを、模型に適用することに課題がある。

中学校国語 A (知識に関する問題)

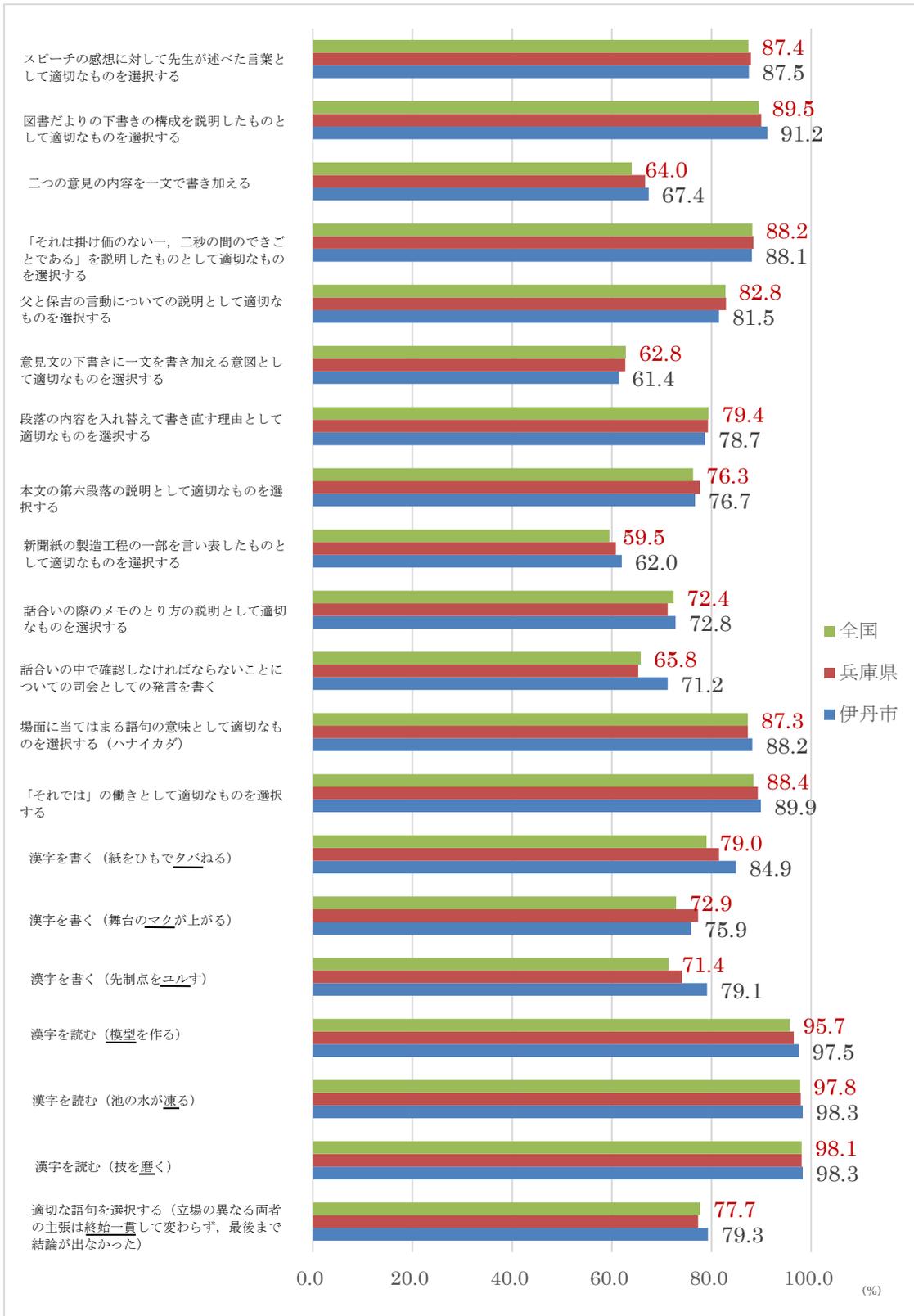
1 正答数分布グラフ

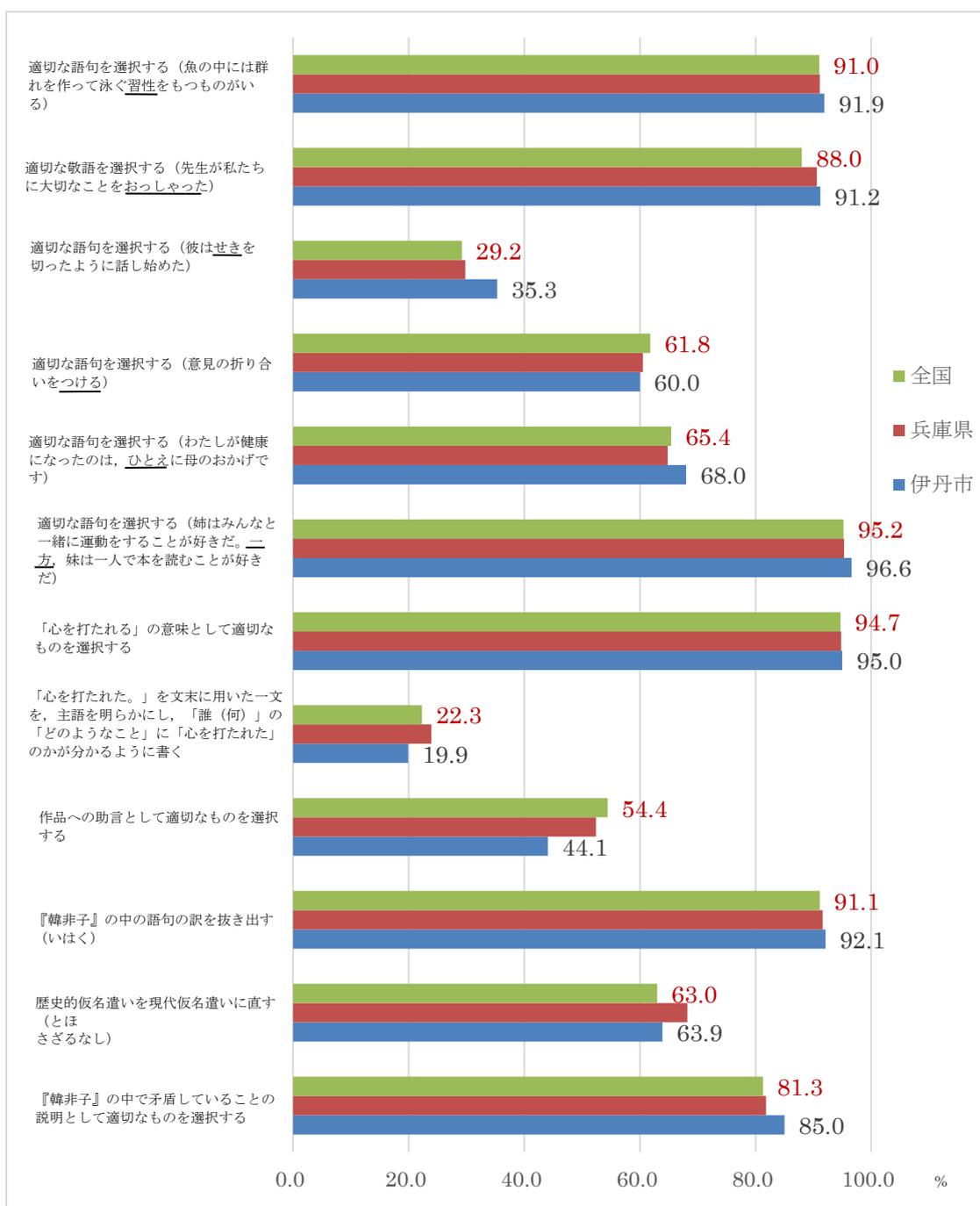


2 分野別レーダーチャート



3 設問別状況

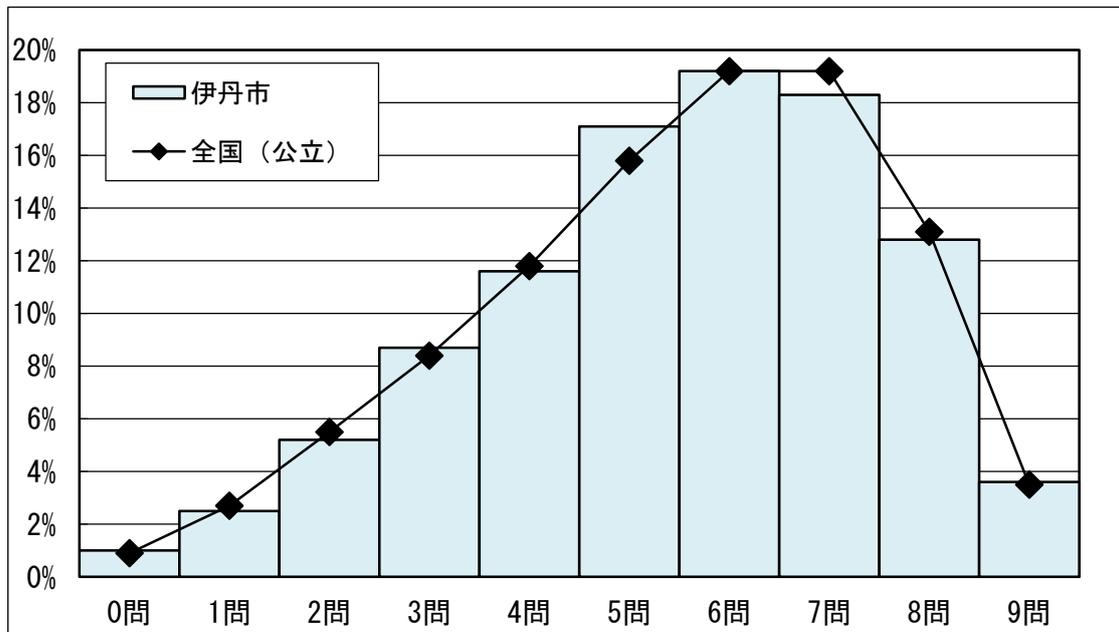




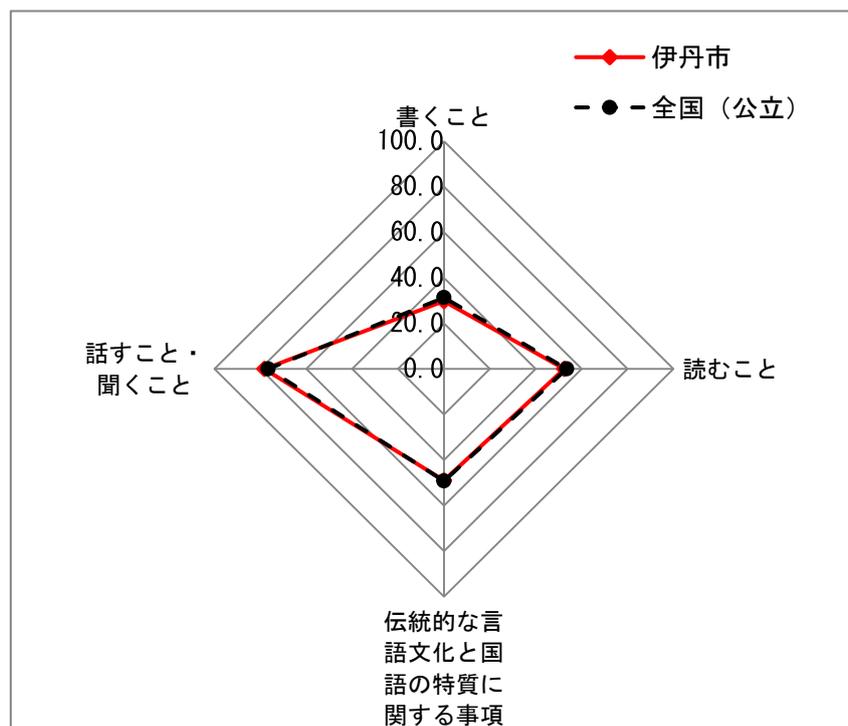
- 書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成することはできている。
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することはできている。
- 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを捉えることはできている。
- 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、伝えたい内容の文章を書くことに課題がある。
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を的確に捉えることに課題がある。
- 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題がある。

中学校国語B (活用に関する問題)

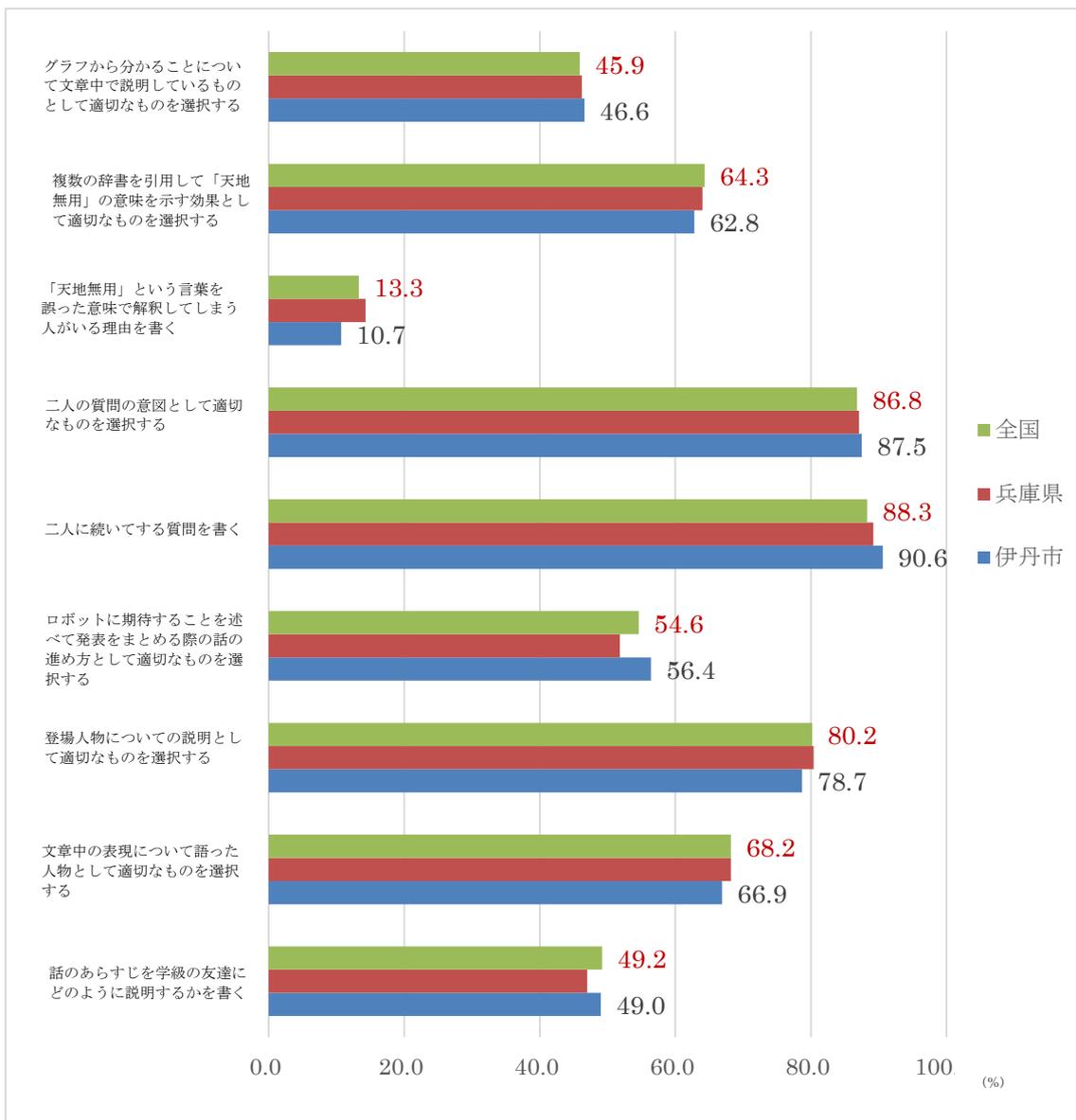
1 正答数分布グラフ



2 分野別レーダーチャート



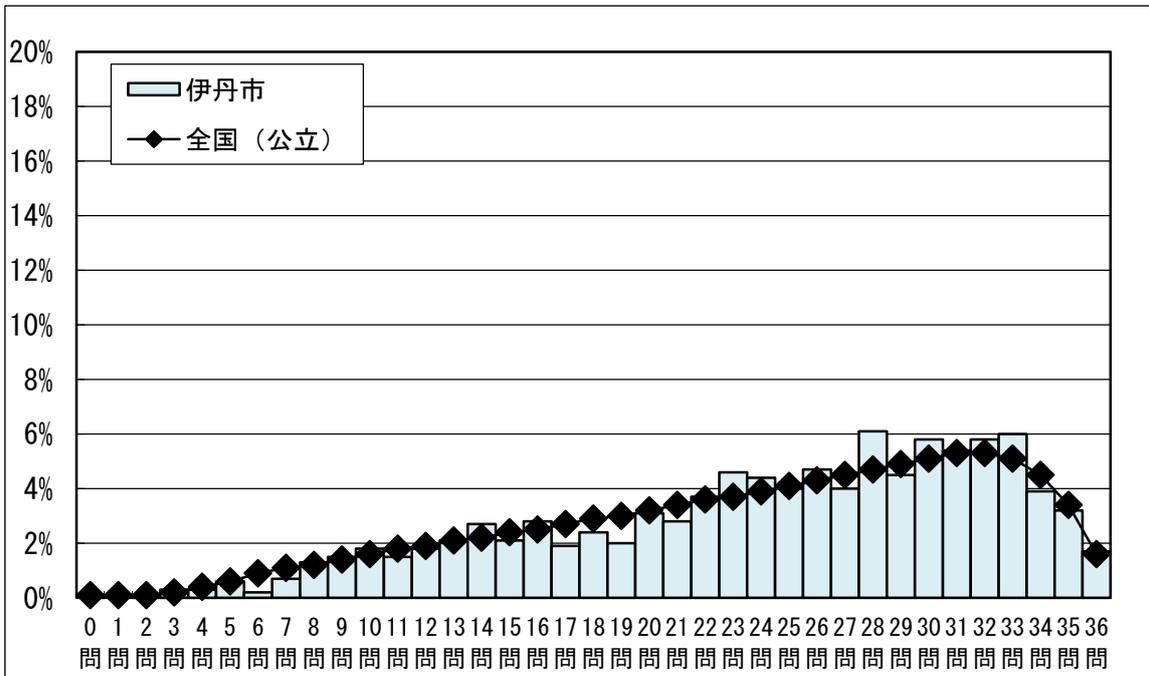
3 設問別状況



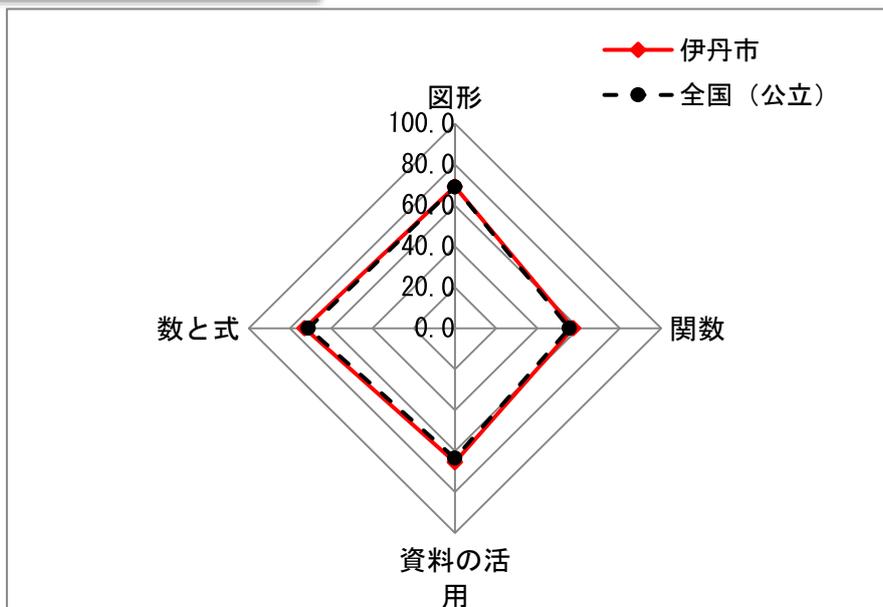
- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞いたり、必要に応じて質問したりすることはできている。
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することはできている。
- 相手に話の内容が的確に伝わるように、目的や意図に応じてあらすじを捉えて書くことに課題がある。
- 文章の構成に注意したり、文章とグラフの関係を考えながら内容を捉えたりすることに課題がある。
- 目的に応じて文章を読み、論の展開を適切に捉えながら内容を整理して書くことに課題がある。

中学校数学A (知識に関する問題)

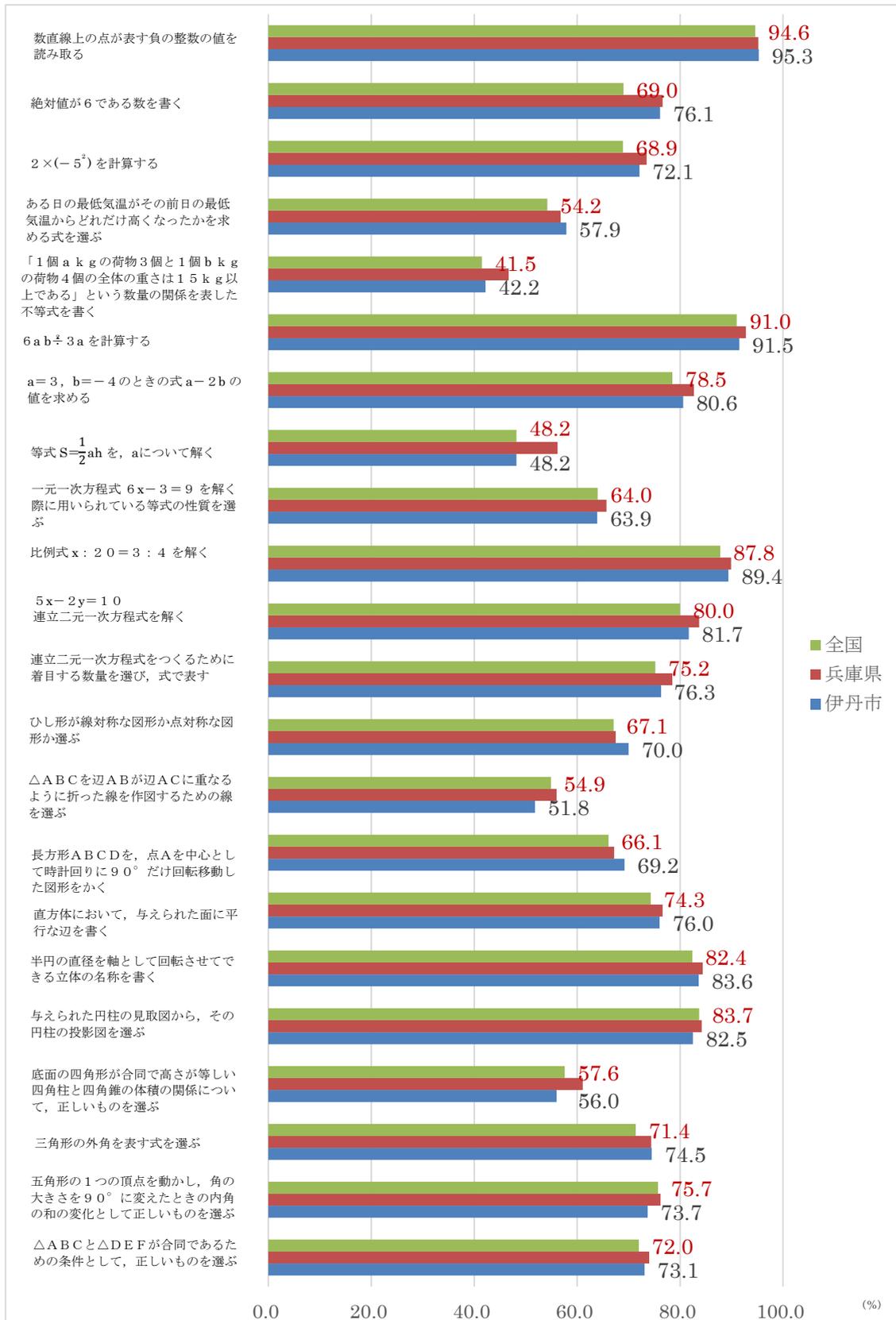
1 正答数分布グラフ

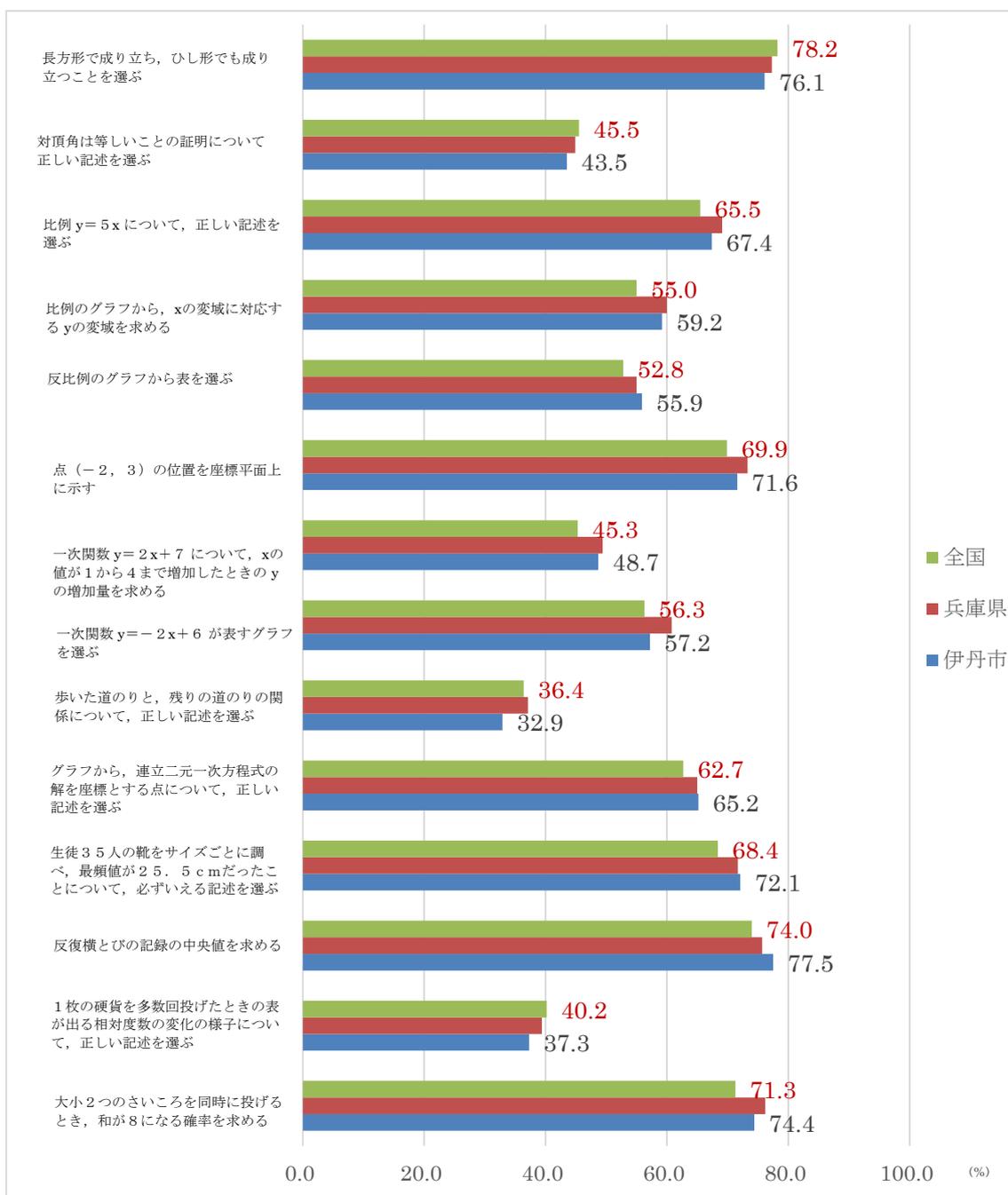


2 分野別レーダーチャート



3 設問別状況

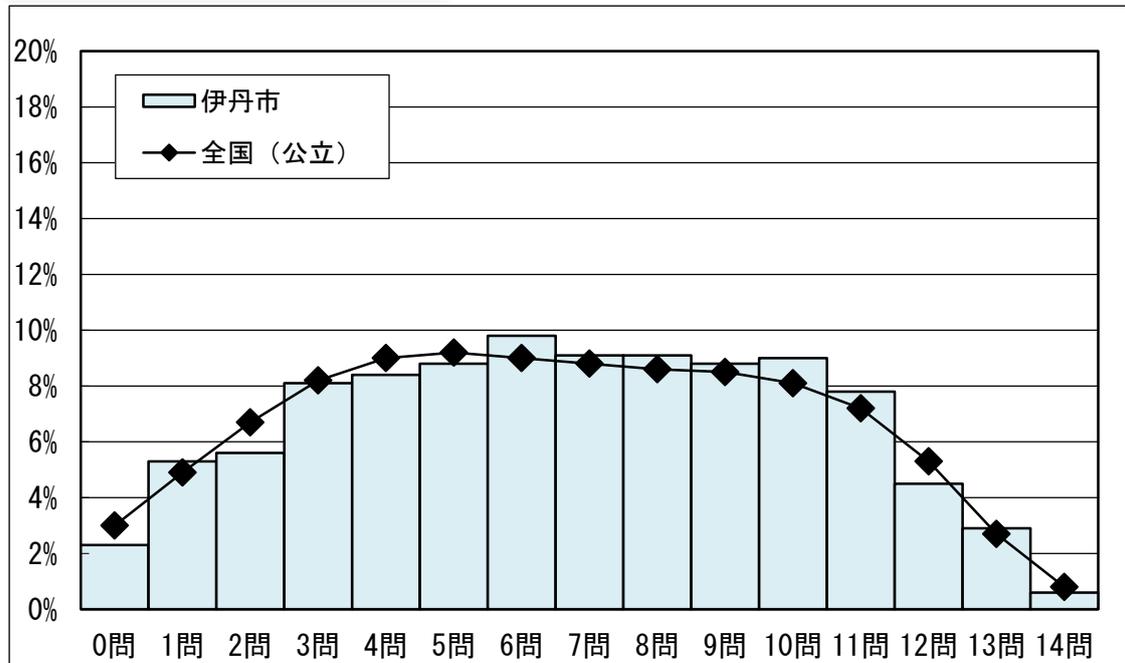




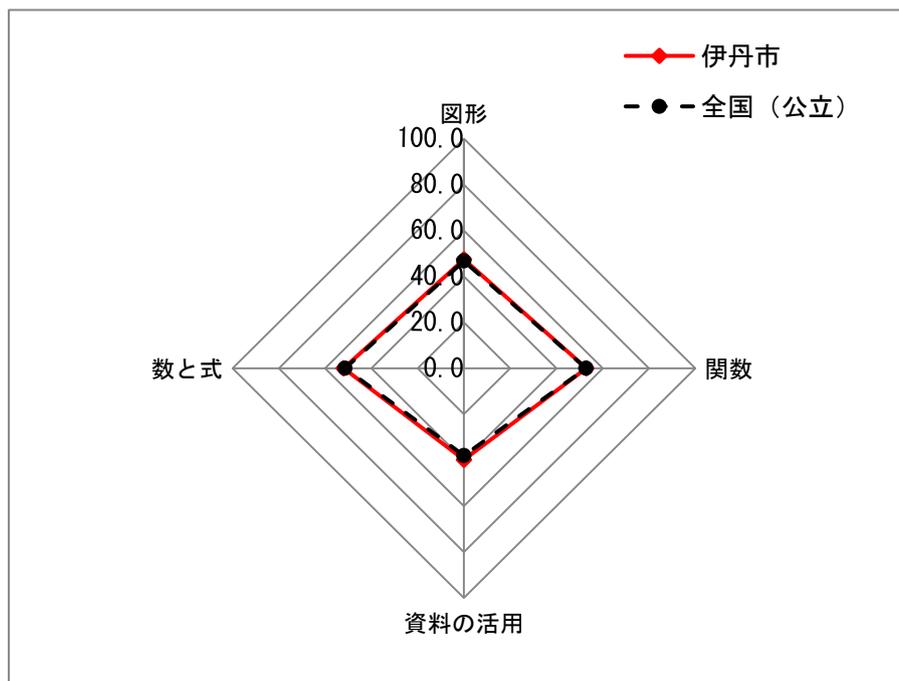
- 数直線上の点が表す負の整数の値を読み取ることはできている。
- 半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している。
- 簡単な比例式を解くことはできている。
- 与えられた資料から中央値を求めることはできている。
- 目的に応じて式を変形することに課題がある。
- 関数の領域において、数量関係の読み取りに課題がある。
- 確率の意味の理解に課題がある。

中学校数学B (活用に関する問題)

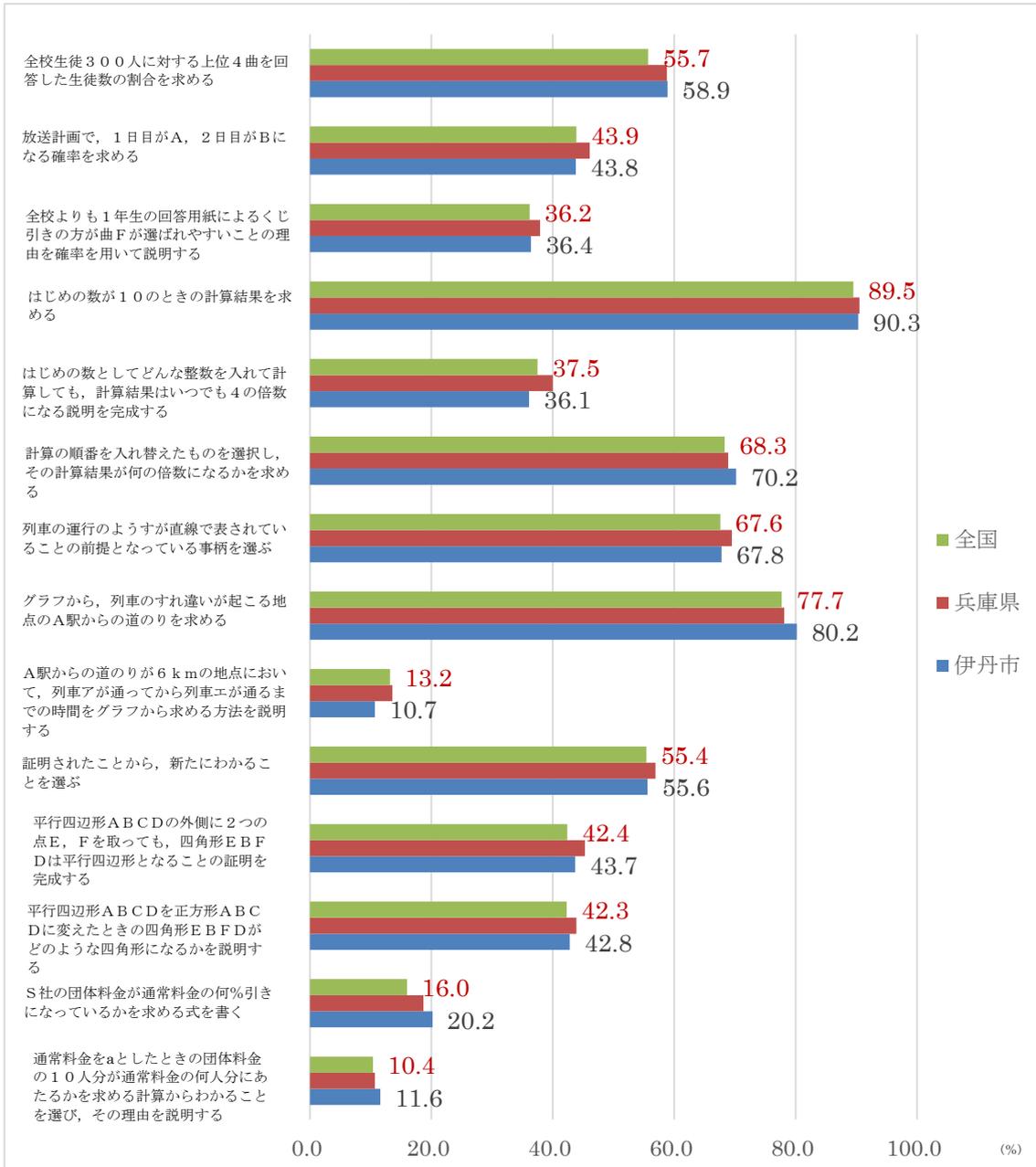
1 正答数分布グラフ



2 分野別レーダーチャート



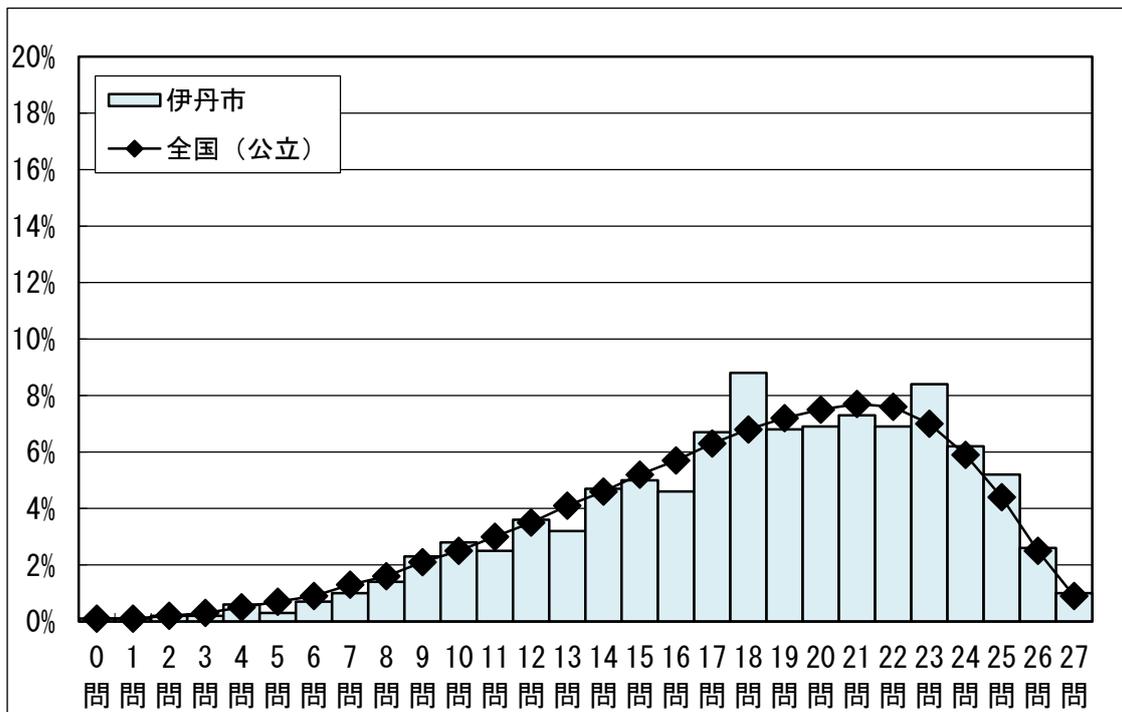
3 設問別状況



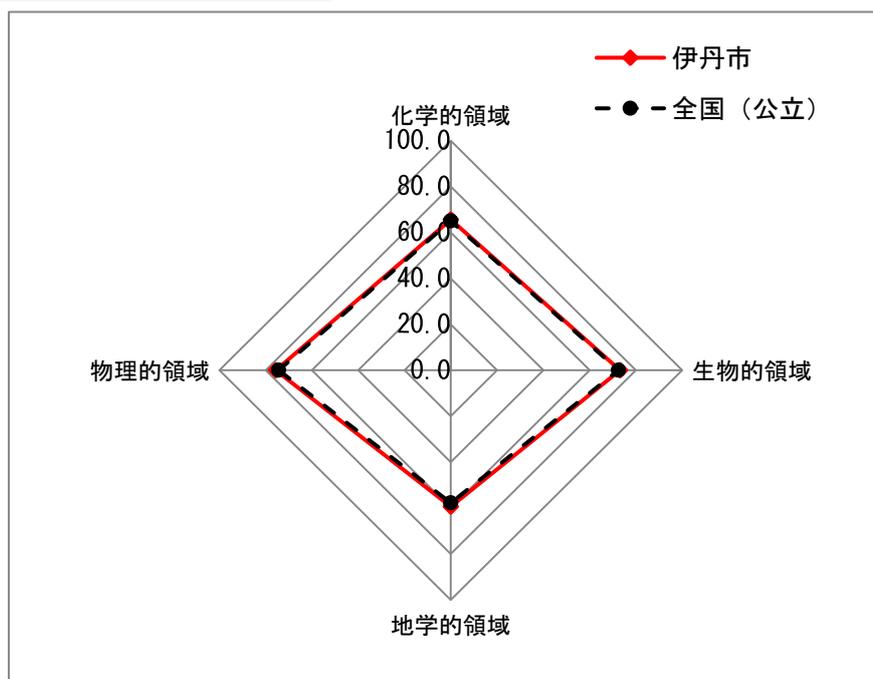
- 「ある試行を多数回繰り返したとき、全体の試行回数に対するある事象の起こる回数の割合は、ある一定に近づく」ことを理解している。
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることはできている。
- グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することはできている。
- 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することに課題がある。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

中学校理科 (知識・活用に関する問題)

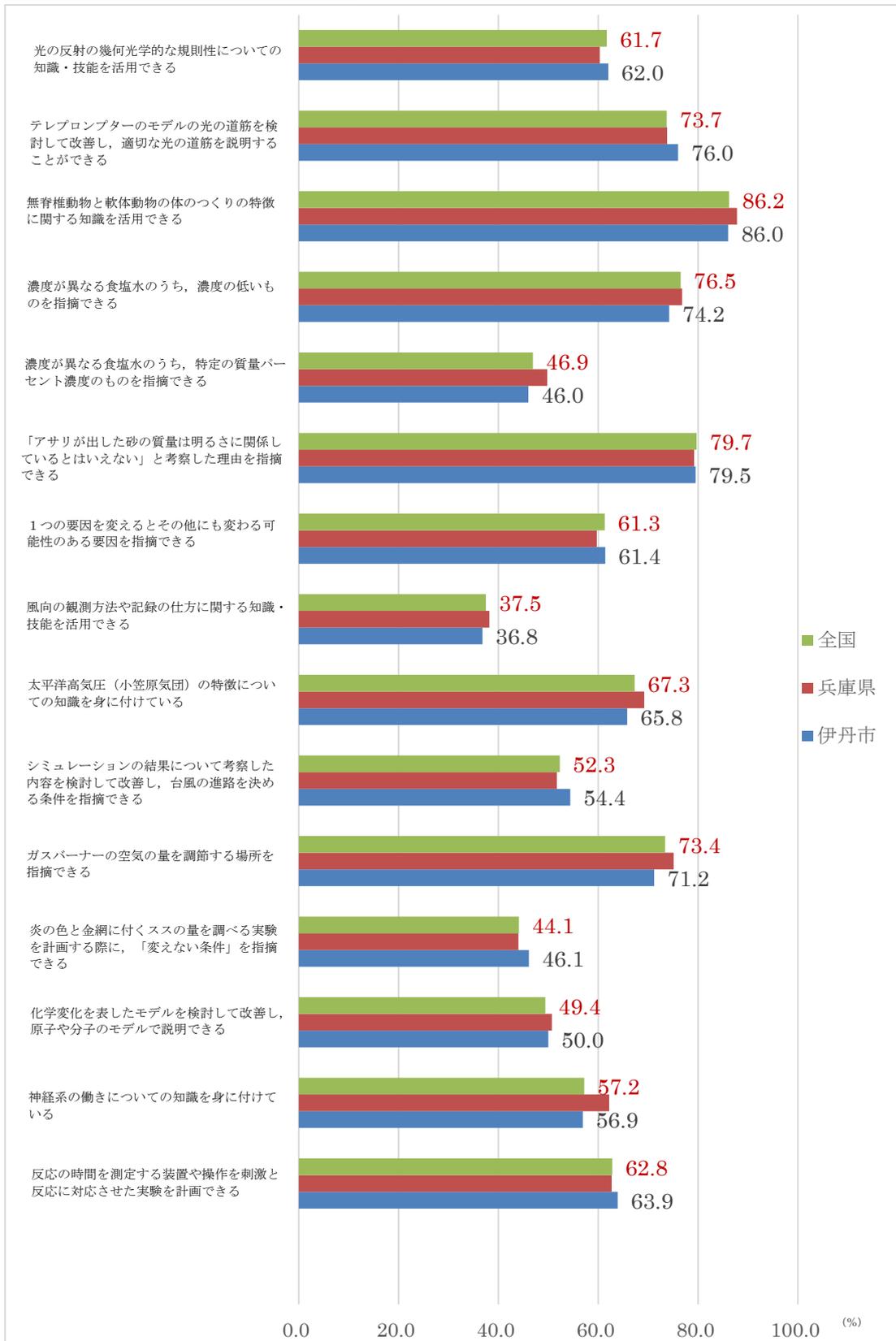
1 正答数分布グラフ

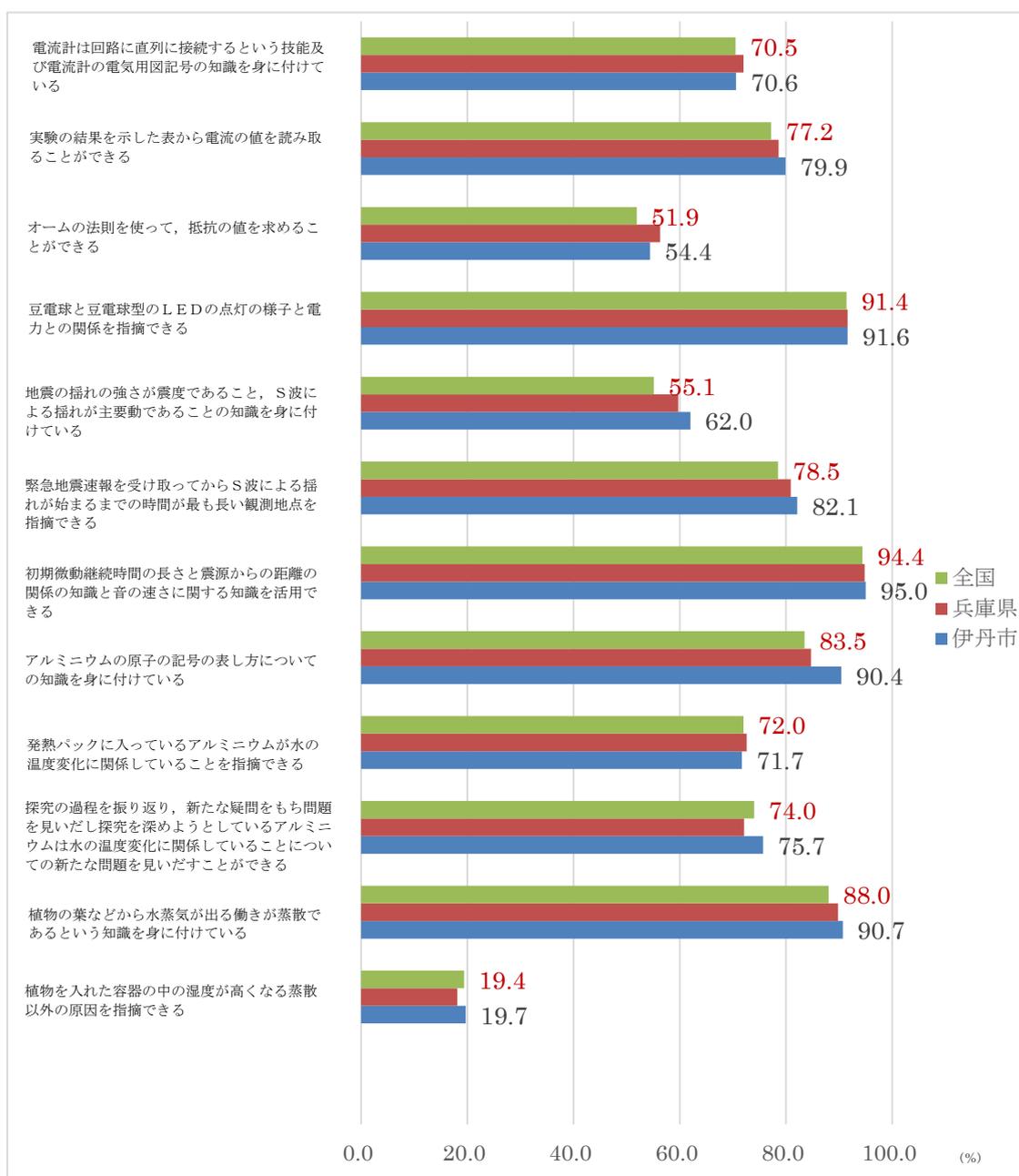


2 分野別レーダーチャート



3 設問別状況

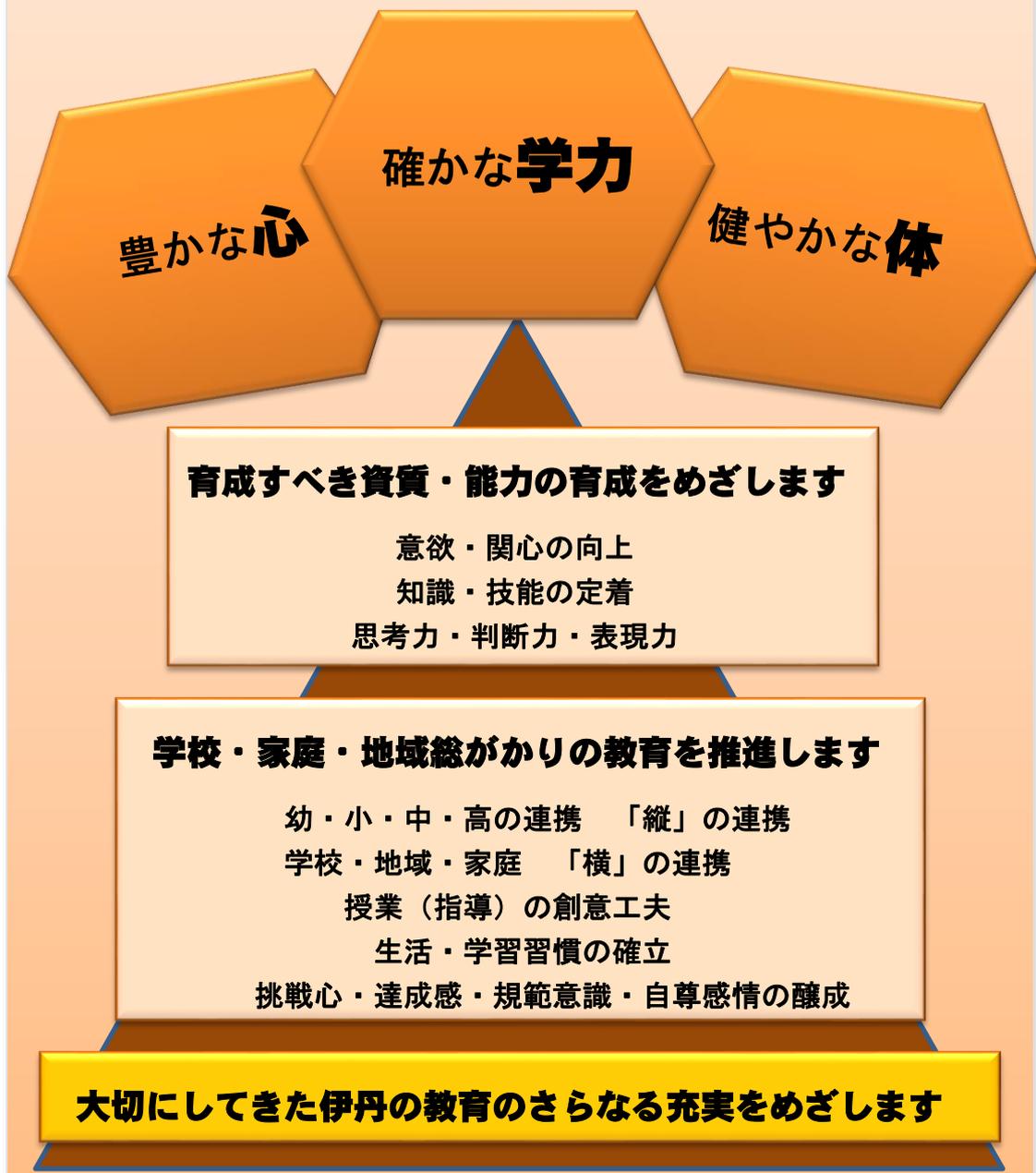




- 電球とLEDの点灯の様子と電力との関係を見いだすことはできている。
- 地震について初期微動と震源からの距離の関係や知識と音の速さに関する知識を活用することはできている。
- 原子の記号の表し方に関する知識を身につけている。
- 植物の葉に関する知識を身につけている。
- 植物の蒸散に関する実験結果を考察し、多様な要因を指摘することに課題がある。
- 風向についての観測方法や、その記録の仕方に関する知識・技能を活用することに課題がある。
- 食塩水の実験において、濃度の概念や質量パーセント濃度を表す技能を身につけることに課題がある。

伊丹の子どもたちの

生きる力を育む

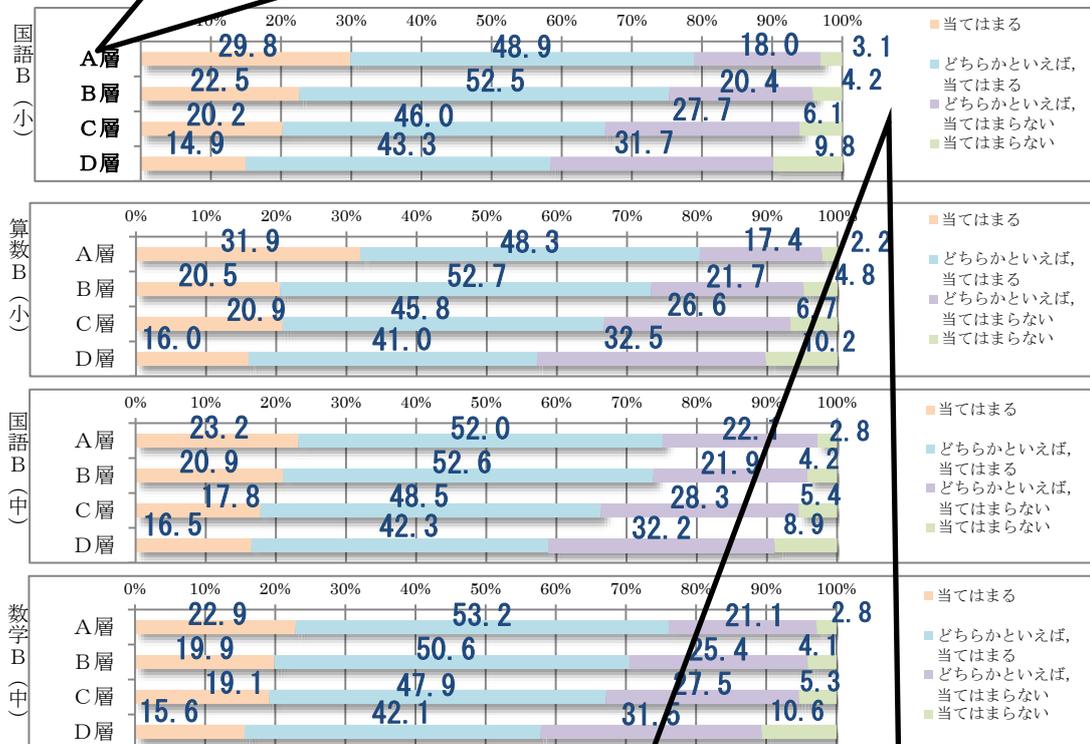


具体的取組ページの説明

「全国学力・学習状況調査」で実施された学習状況調査の質問内容です。小学生・中学生それぞれに質問しています。

学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか

A～Dの層は、伊丹市の児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っています。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層としています。



小学校国語B・小学校算数B・中学校国語B・中学校数学Bの平均正答率と、学習状況調査の回答とのクロス集計を示しています。

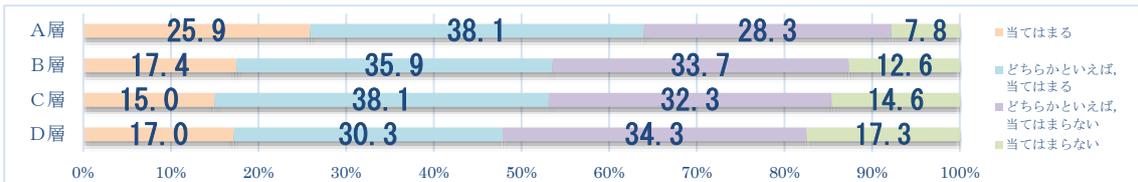
例えば、小学校国語Bを見ると、質問項目にあるような学習活動に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」という肯定的な回答をした子どもがA層では78.7%、D層では58.2%です。つまり質問項目のような学習活動に取り組んだ児童生徒の平均正答率が高位であることがわかります。

1 授業改善① (主体的・対話的で深い学びの視点)

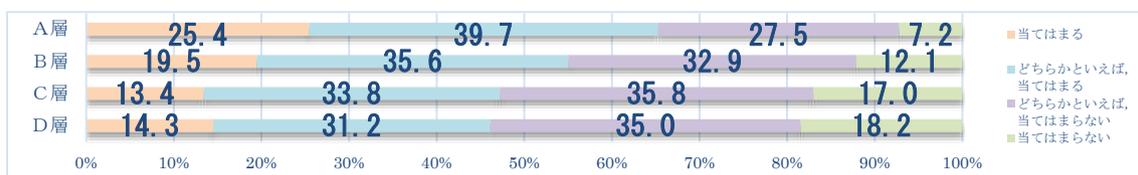
学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。

自分の考えを發表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して發表していたと思いますか

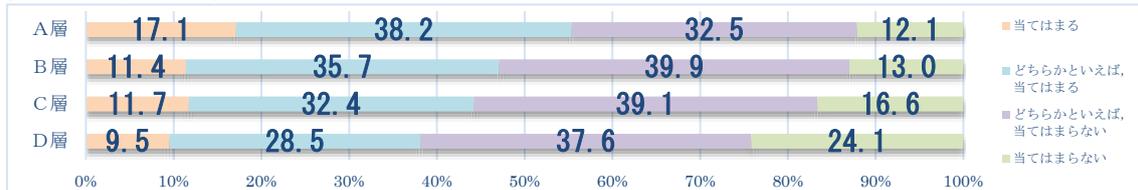
国語B (小学校)



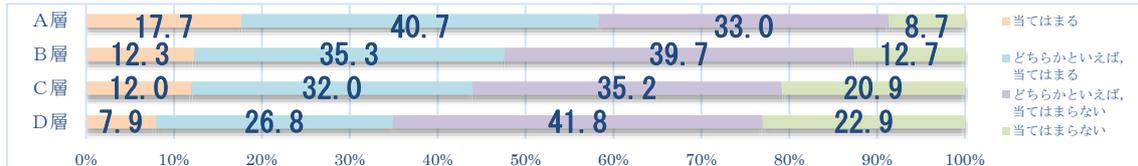
算数B (小学校)



国語B (中学校)



数学B (中学校)



主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を推進します

- ・ 自分自身が学びの主人公となり、一人で考える、調べる、書くといった活動を通して、既得の知識に加え、新しい知識や技能を習得させる指導を行います。
- ・ 友だちとの協働学習、教職員や地域の人との対話等を通して、考えを交流したり、自分の考えと他の人との考えを比較したりして、自分自身の考えを広げ、深めていく学習活動に取り組みさせる指導を行います。
- ・ 既得の知識や新しく得た知識や技能を関連付けて深く理解したり、課題を捉えて解決を図ったりする学びの場を創ります。

学校組織としての校内研究を推進します

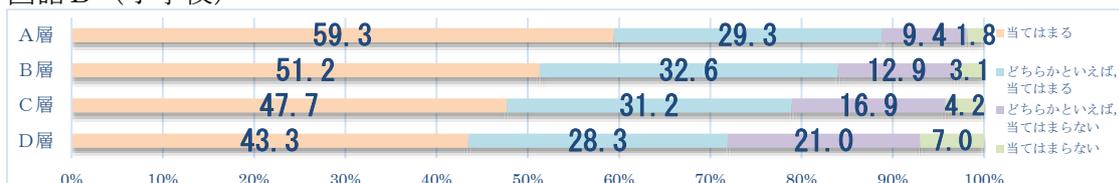
- ・ 各種調査等の結果分析、分析に基づいた取組プランを策定・実行します。
- ・ 自校の課題に対応した模擬授業や事例研究等の実践的な授業研究を行います。

1 授業改善② (考えて書く活動の充実)

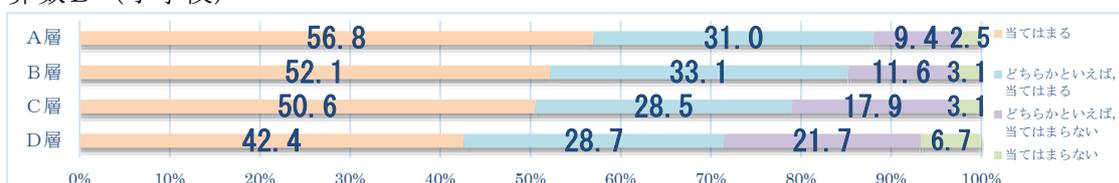
学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。

算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

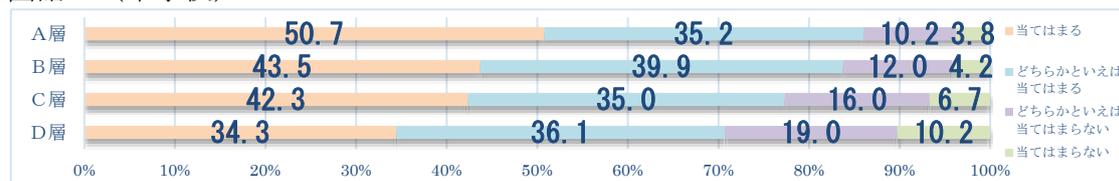
国語B（小学校）



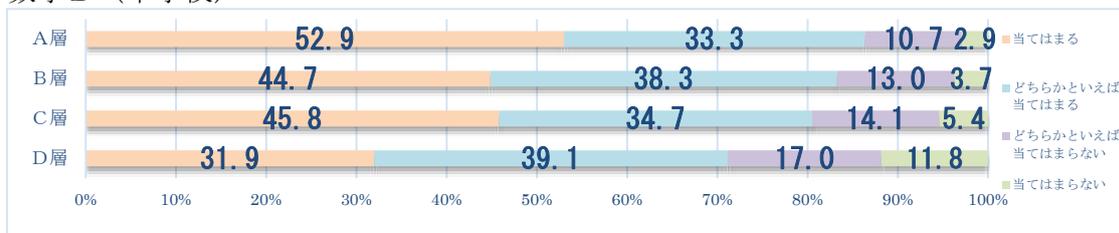
算数B（小学校）



国語B（中学校）



数学B（中学校）



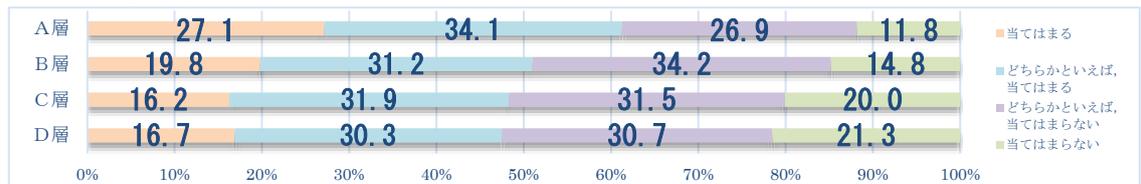
書く活動を教科等、特別活動、行事等のあらゆる機会を設定します

- ・各学年において必要な書く力を身につけさせるため、読み手や目的に応じた内容や構成等を考えて書かせる指導を行います。
- ・複数の資料を比較して書く、条件に応じて書く、文章を要約して書く、意見と事実を区別して書く等、様々な条件の文章を書かせる指導を行います。
- ・説明したり、発表したりする際に、自分の考えを文章で書かせる指導を行います。

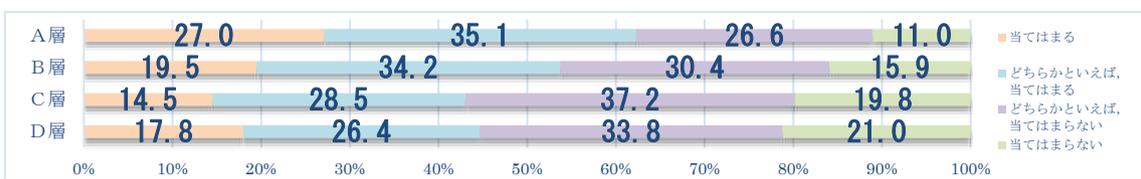
学校 **1 授業改善③** (発表する活動の充実)

学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか

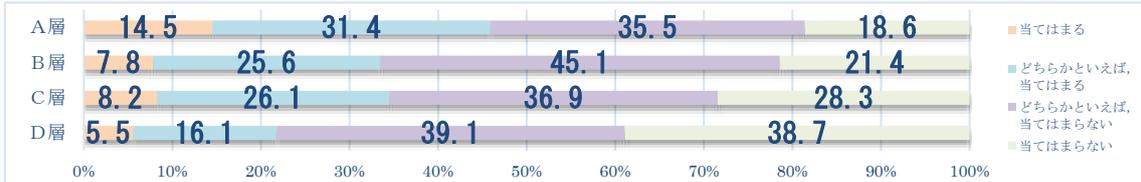
国語B (小学校)



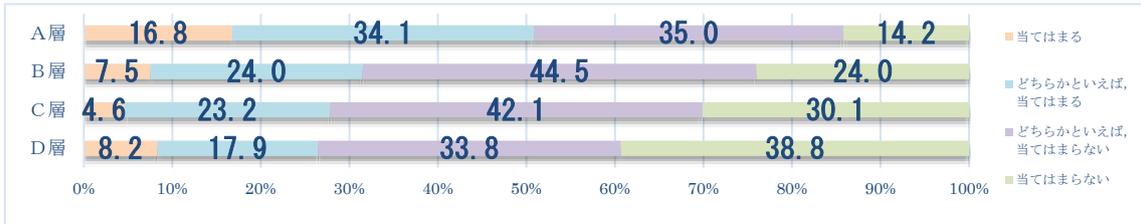
算数B (小学校)



国語B (中学校)



数学B (中学校)



自己表現の場として、発表する場を設定します

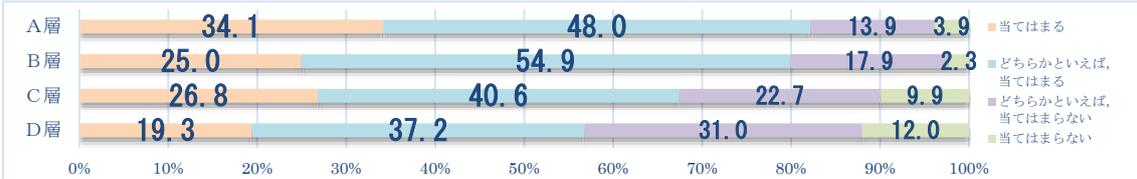
- ・各学年で必要な話し方の指導を充実させ、意見発表やプレゼンテーション、討論等、多様な話し方のスキルを身につけさせる指導を行います。
- ・ペアやグループ活動など多様な学習形態を用いた授業を実践します。
- ・単元や教材の中で、学習した内容を用いて、表現する学習活動を実施します。
- ・話の構成や内容を工夫するためには、自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすることなどについて指導を行います。
- ・自分の考えが伝わるように話すことができているかを振り返ったり、相手の反応に応じて、思考を働かせながら話したりすることなどについて指導を行います。

学校 **2 学習に対する興味・関心**
(授業の理解度)

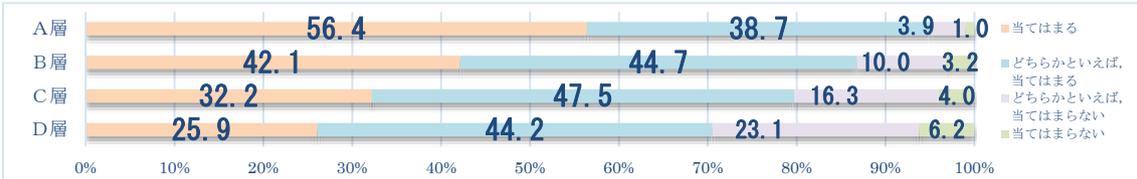
学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。

算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

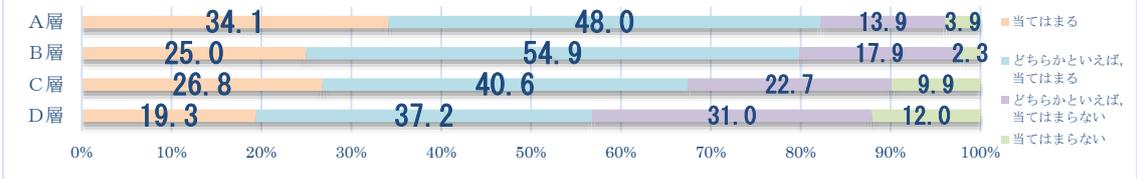
国語B（小学校）



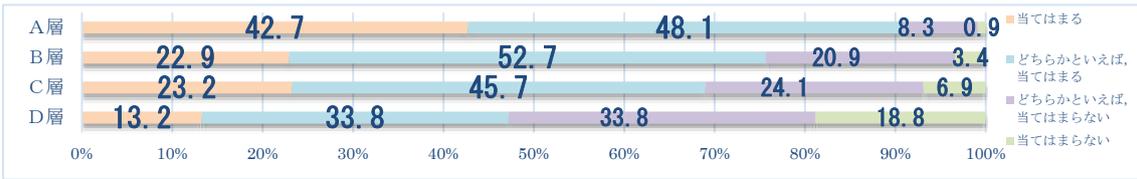
算数B（小学校）



国語B（中学校）



数学B（中学校）



児童生徒が「わかった」と実感する授業を実践します

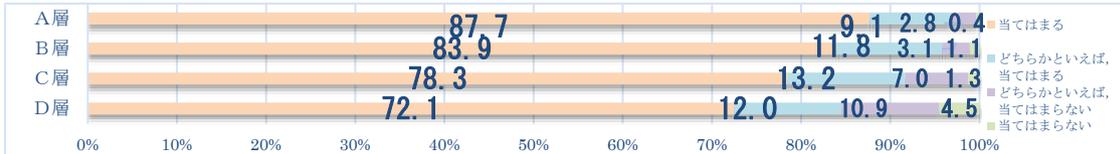
- ・ 学力調査や評価テスト、単元テスト等を活用し、学習内容の定着状況を把握し、基礎学力を身につけさせる指導を行います。
- ・ 新学習システムや学力向上支援教員等を活用し、少人数によるきめ細やかな指導を行い、学習のつまづきを解消します。
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化やICTの活用を進めるなど、わかりやすい授業を行い、児童生徒の学習意欲を向上させる指導を行います。
- ・ ノート指導をきめ細かく行い、学習内容を定着させる指導を行います。
- ・ 放課後学習や長期休業中の補習を通して、個に応じた補充を行います。
- ・ 宿題等を工夫して、学習内容を定着させます。

3 基本的な生活習慣

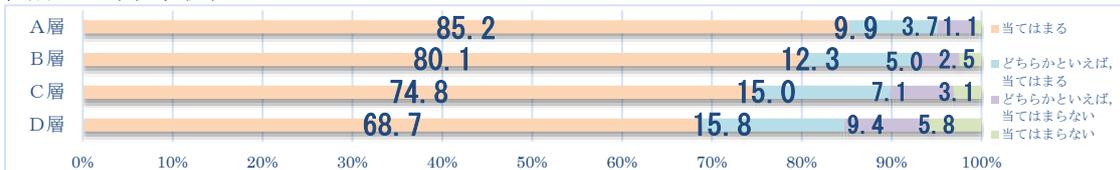
学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。

朝食を毎日食べていますか

国語 A (小学校)

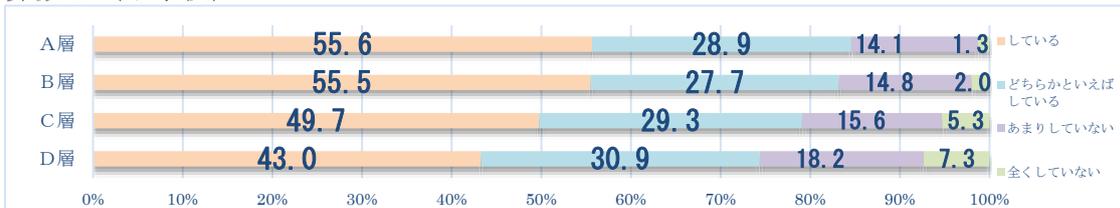


国語 A (中学校)

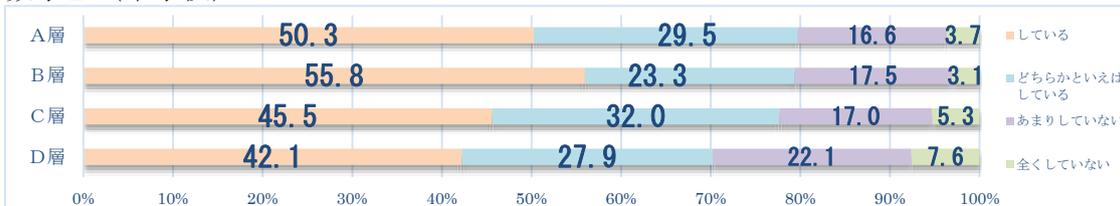


家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

算数 B (小学校)



数学 B (中学校)



生活習慣と子どもの学力向上に高い相関があります

家庭では

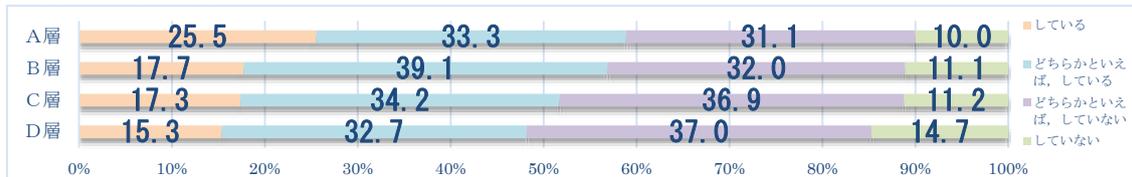
- ・就寝時間、学習時間、テレビの視聴時間、携帯電話の使用時間等、家庭の中での「約束ごと」を子どもと一緒に考え、守らせましょう。
- ・いろいろな物事に取り組む際に、目標を持って取り組む経験をさせることが大切です。（例えば、○日間で完成させるとか、○○まであきらめないなど）
- ・いろいろなことを覚えなくなったり、自分でできることが増えてきたり、物事への興味関心が高まるように、家庭で会話する習慣をつくり、褒めたり、励ましたりしましょう。

4 学習習慣

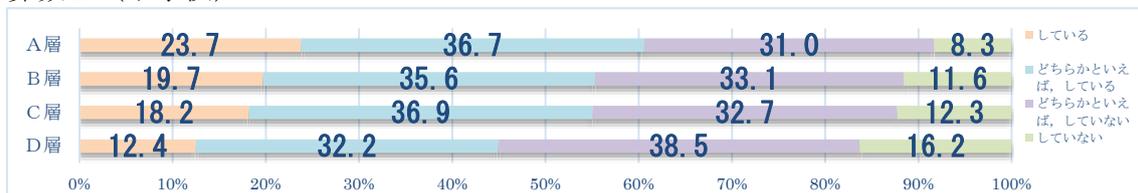
学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。

家で、学校の授業の予習・復習をしていますか

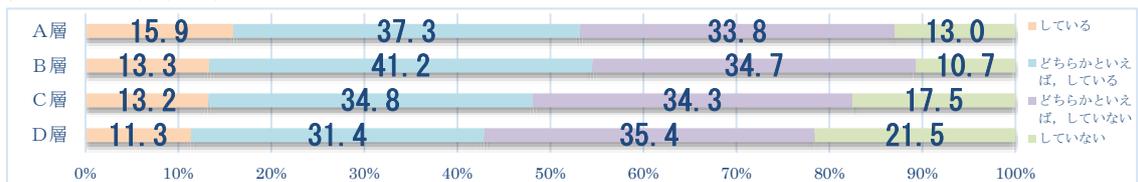
国語B（小学校）



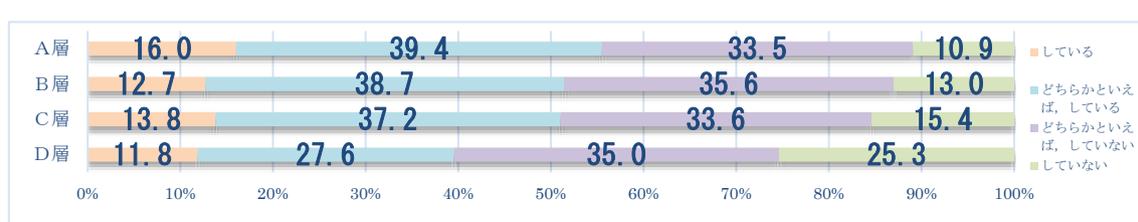
算数B（小学校）



国語B（中学校）



数学B（中学校）



学校と家庭の連携を図り、家庭での学習習慣づくりをしましょう

- ・宿題だけで終わらず、自ら計画を立てさせて自主学習に取り組ませましょう。
- ・授業の予習・復習に取り組ませましょう。
- ・「家庭学習の手引き」や「家庭学習のへや」を活用し、家庭での学習活動を充実させましょう。
- ・土曜学習会等を活用して休日の規則正しい生活習慣や学習習慣をつくりましょう。

読書・新聞も学力向上と高い相関があります

- ・子どもが本を読む機会が多くもてるように、地域の図書館を利用したり、話題の本を調べたりして本に触れる機会を積極的につくり、読書に親しませることが大切です。また、積極的に新聞を読ませましょう。

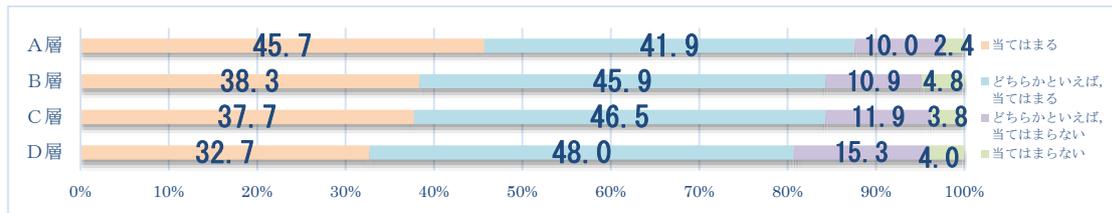
学校
家庭 地域

5 規範意識、自尊感情

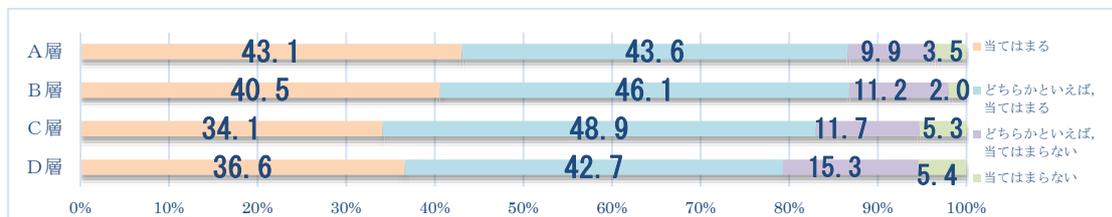
学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。

自分には、よいところがあると思いますか

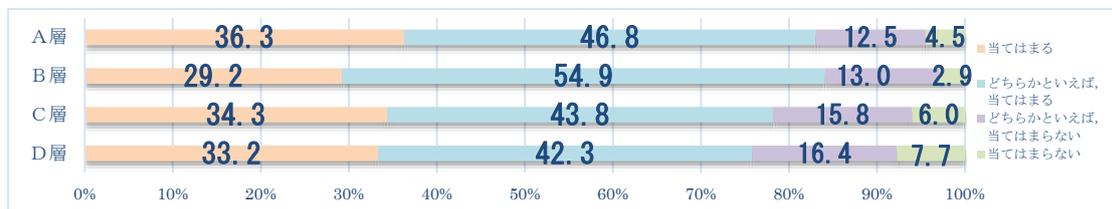
国語B（小学校）



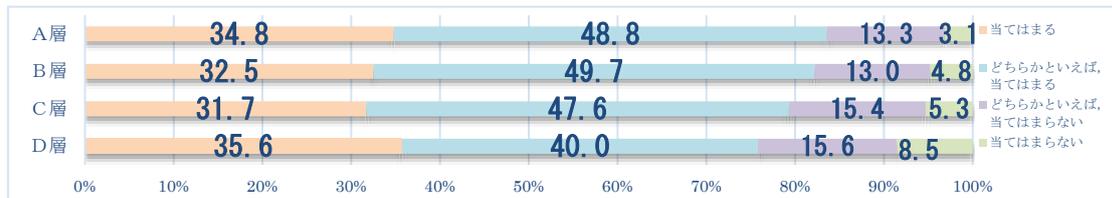
算数B（小学校）



国語B（中学校）



数学B（中学校）



学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの自尊感情を育みましょう

- ・日々の生活を通して、自己の役割や責任を果たす姿勢を育みましょう。
- ・達成感や成功体験を得たり、課題に立ち向かう姿勢を身に付けたりできる経験をさせましょう。
- ・小学校「特別の教科 道徳」、中学校「道徳」において、学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進します。
- ・社会体験や自然体験活動など多様な体験活動の充実を図ります。

学校
家庭 地域

6 地域や社会に関わる活動

学力に関係の大きい学習状況調査の質問項目を示しています。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

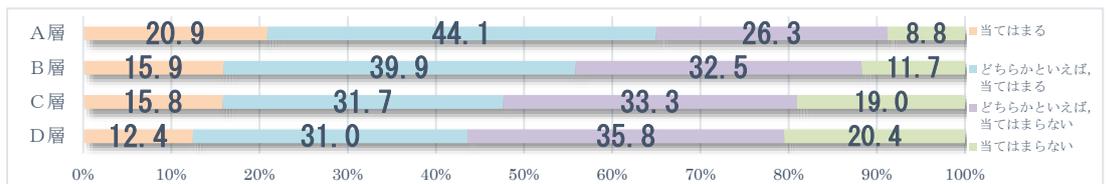
国語B（小学校）



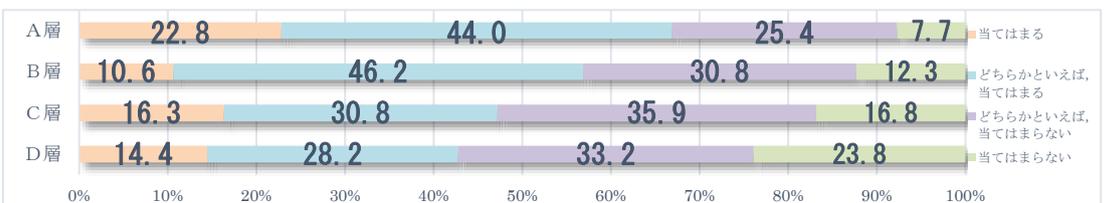
算数B（小学校）



国語B（中学校）



数学B（中学校）



地域や社会に対する興味・関心を持たせ、学校では学べないことを学ばせましょう

- ・地域活動や行事などに積極的に参加し、地域とのつながりや地域の伝統文化を大切に育む心を持たせよう。
- ・新聞を読ませたり、ニュースを話題にしたりして、世の中で起こっていることなどを話題にしながら、社会に関心を持たせ、子どもの社会性や自主性を育みましよう。
- ・新聞を教材とした学習（NIE：Newspaper in Education）に取り組ませる等、社会性豊かな人材の育成を図ります。

